

第三期戸田市  
子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査報告書  
(抜粋)

令和6年3月  
戸田市

# 第1章 調査実施の概要

## 1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき、平成27年度に策定された第一期および平成32年度を始期とする第二期に続き、令和7年度からは第三期「戸田市子ども・子育て支援事業計画」を改めて策定します。新計画の策定にあたり、これまでの戸田市子ども・子育て支援事業計画の評価、現状や課題の整理を行うとともに、子ども・子育て支援施策の目標値や内容、提供体制を明確にすることを目的として調査を実施しました。

## 2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数及び調査期間・方法は、以下のとおりです。

### ■ 調査票の種類と調査対象者

①子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童保護者向け）	
調査対象者	住民基本台帳から、市内在住の就学前児童を年齢別・地域別に無作為抽出
調査票配布数	2,000人
②子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学生保護者向け）	
調査対象者	住民基本台帳から、市内在住の小学生を年齢別・地域別に無作為抽出
調査票配布数	1,000人
③子ども・子育て支援に関するアンケート調査（児童・生徒向け）	
調査対象者	住民基本台帳から、市内在住の小学生・中学生・高校生を年齢別・地域別に無作為抽出
調査票配布数	1,000人

### ■ 調査期間と調査方法

調査期間	令和5年12月7日～令和6年1月5日
調査方法	郵送配布・郵送回収

### 3 調査票の配布と回収状況

各調査の配布・回収状況は、以下のとおりです。

#### ■ 配布・回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	2,000	922	46.1
小学生の保護者	1,000	545	54.5
児童・生徒	1,000	380	38.0

#### ■ 就学前児童の年齢別配布・回収状況

年齢	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
0歳	291	177	60.8
1歳	313	135	43.1
2歳	331	159	48.0
3歳	399	168	42.1
4歳	379	161	42.5
5歳	287	105	36.6

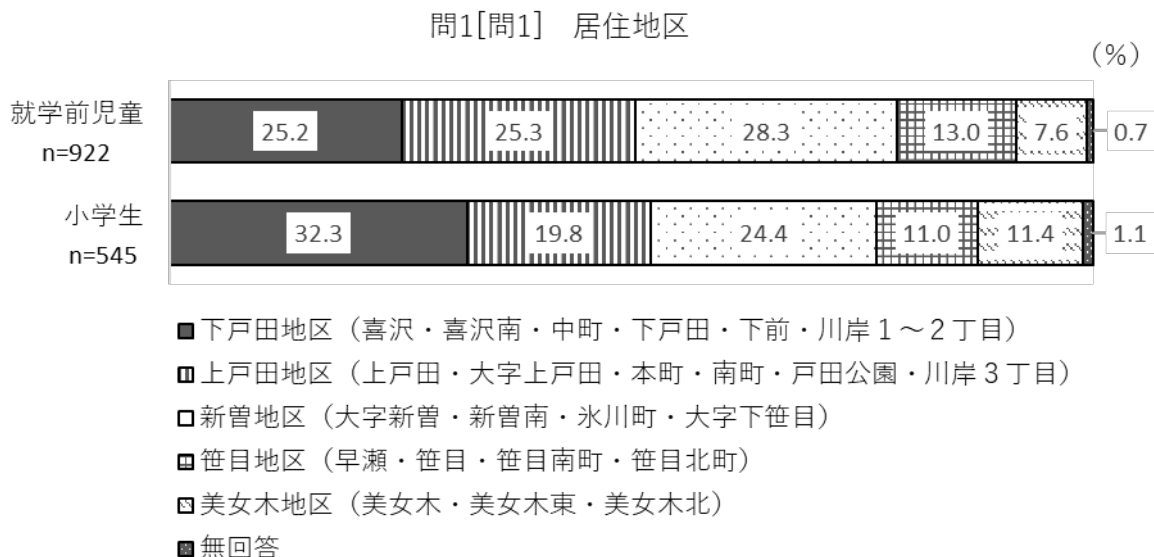
#### ■ 就学前児童の地区別配布・回収状況

地区	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
下戸田地区	515	232	45.0
上戸田地区	497	233	46.9
新曽地区	567	261	46.0
笹目地区	251	120	47.8
美女木地区	170	70	41.2

## 第2章 調査結果 就学前児童保護者・小学生保護者

### 1 お住まいの地域

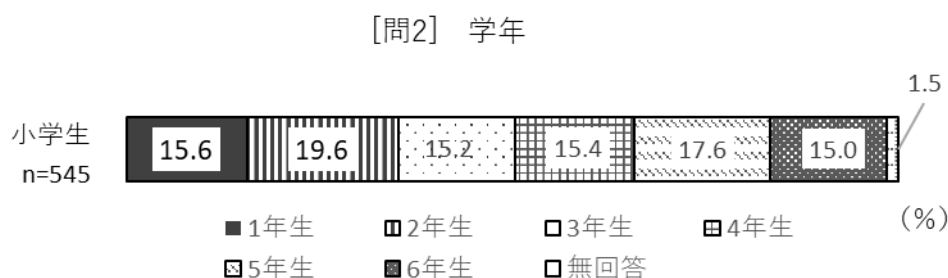
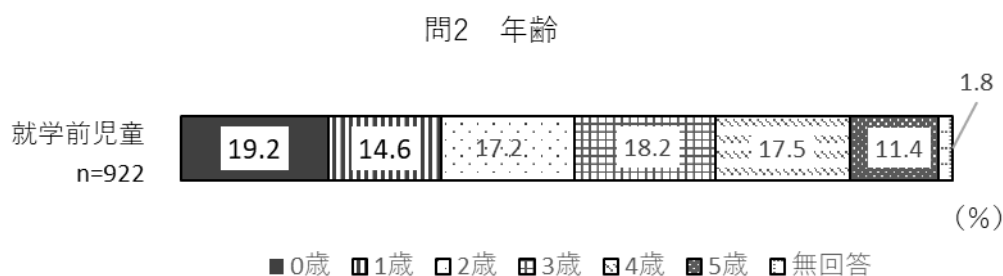
○居住地区は以下のとおりです。



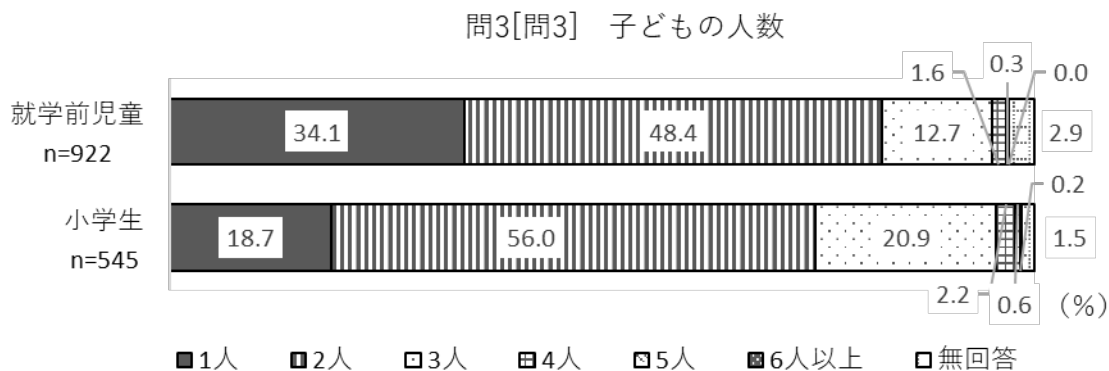
### 2 お子さんご家族の状況

#### 2-1. お子さんご家族の状況

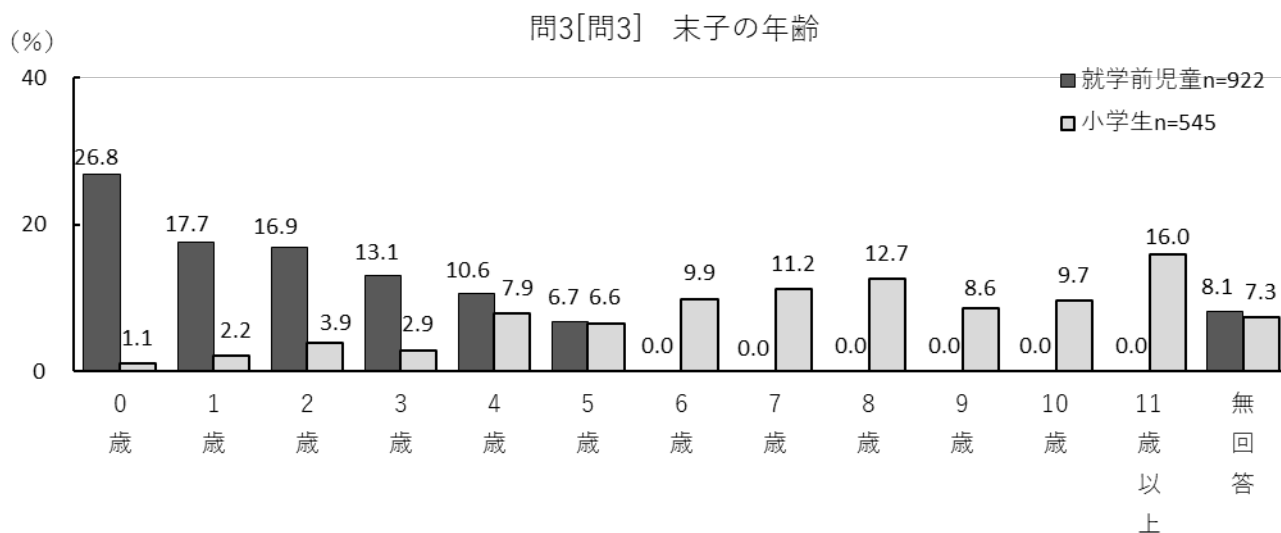
○お子さんの年齢・学年は以下のとおりです。



○お子さんの人数は以下のとおりです。



○お子さんの末子の年齢は以下のとおりです。

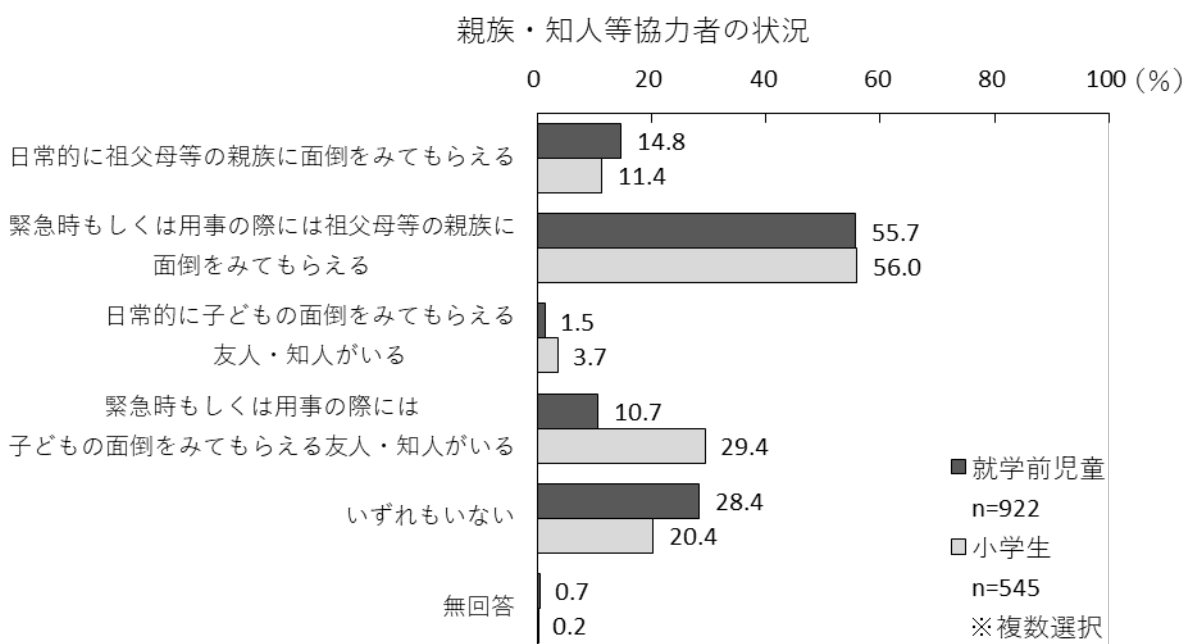
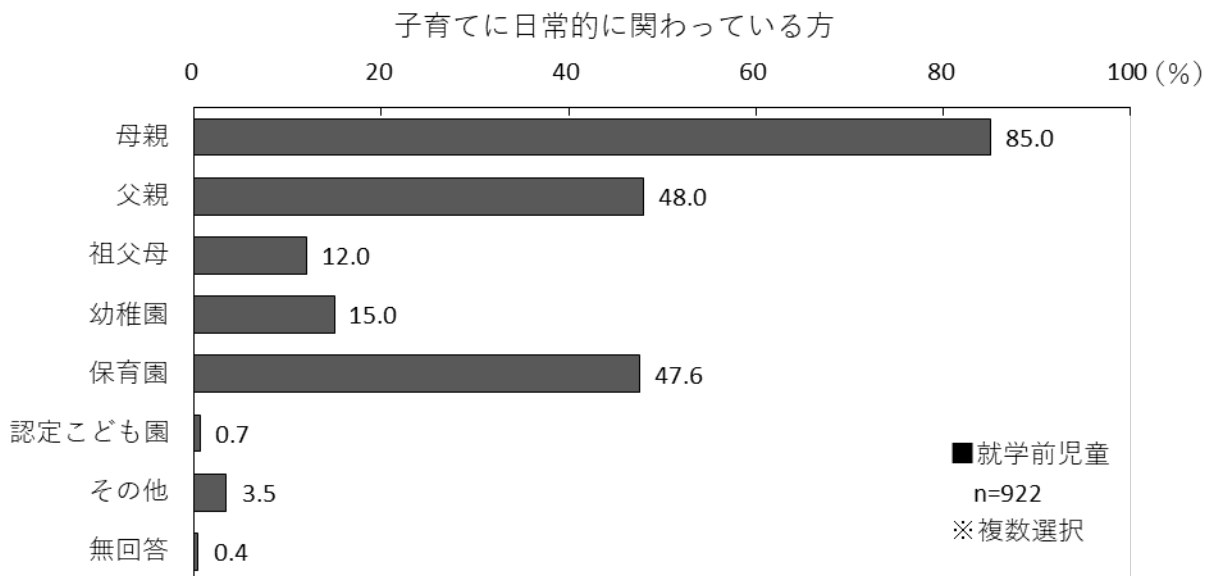


### 3 子どもの育ちをめぐる環境

#### 3-1. 日常的に子育てに関わっている方や協力者の状況

○就学前児童について、子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）は、「母親」が85.0%で突出しており、次いで「父親」が48.0%、「保育園」が47.6%となっています。

○お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に面倒をみてもらえる」が就学前児童では55.7%、小学生では56.0%とそれぞれ最多を占めています。就学前児童では「いずれもない」が28.4%を占めこれに続いており、小学生でも20.4%を占めています。

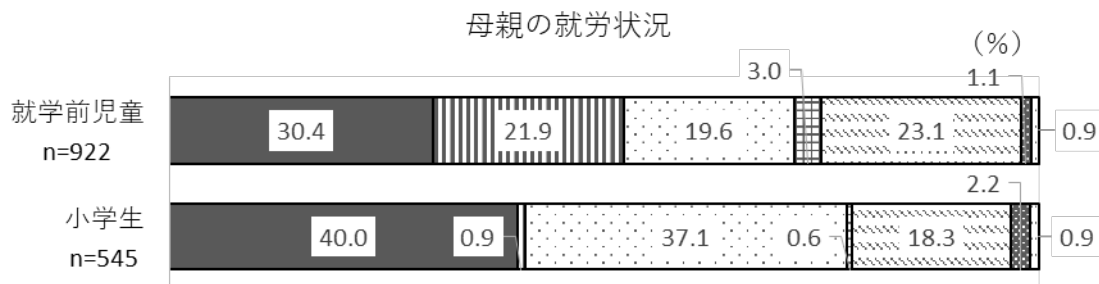


## 4 保護者の就労状況

### 4-1. 母親の就労状況

○現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前児童では30.4%、小学生では40.0%とそれぞれ最多を占めています。以下、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.1%、小学生では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.1%でこれに続いています。

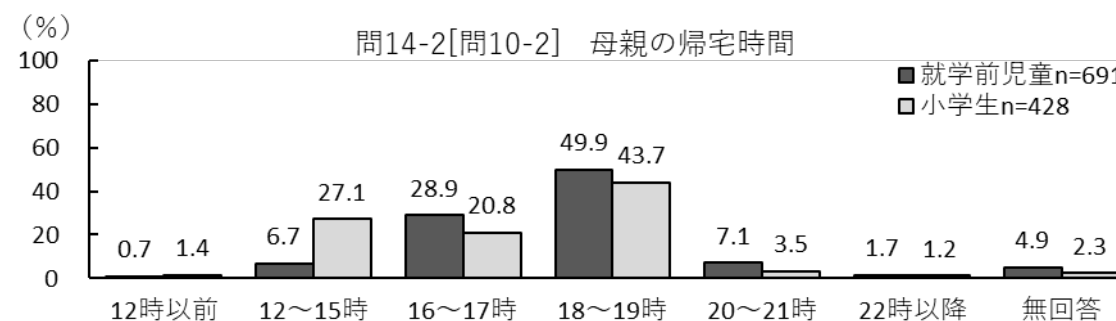
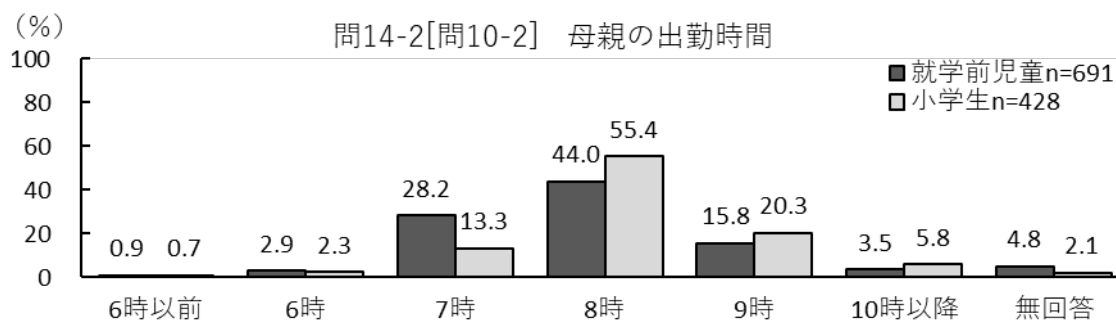
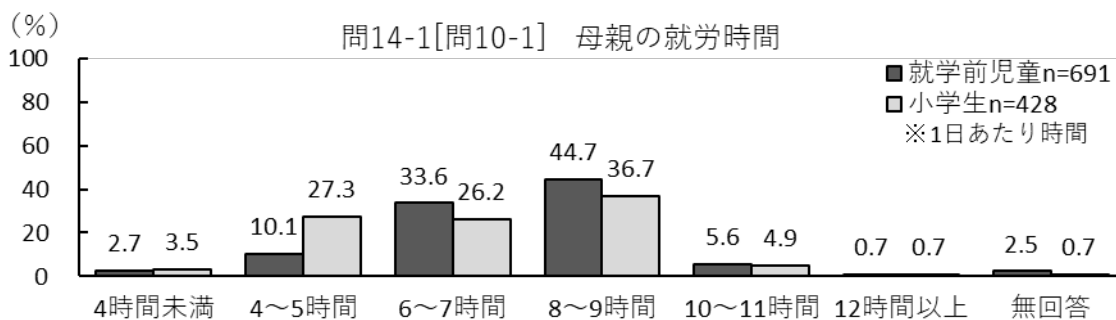
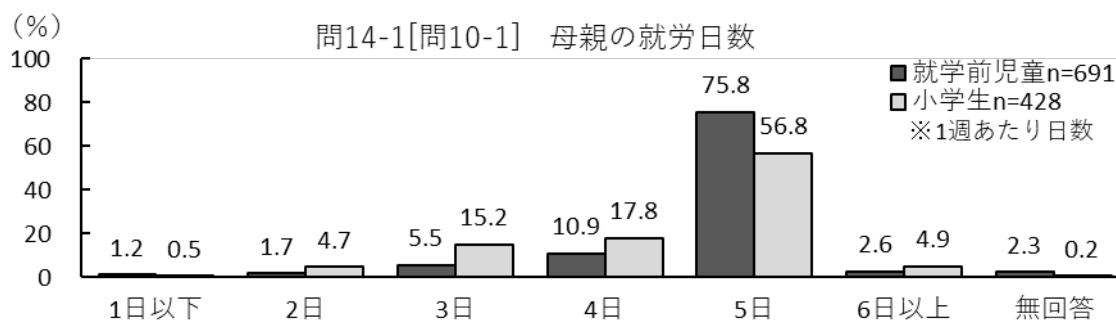
○「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」を合わせ、現在就労していない母親は、就学前児童では24.2%、小学生では20.5%となっています。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▣ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

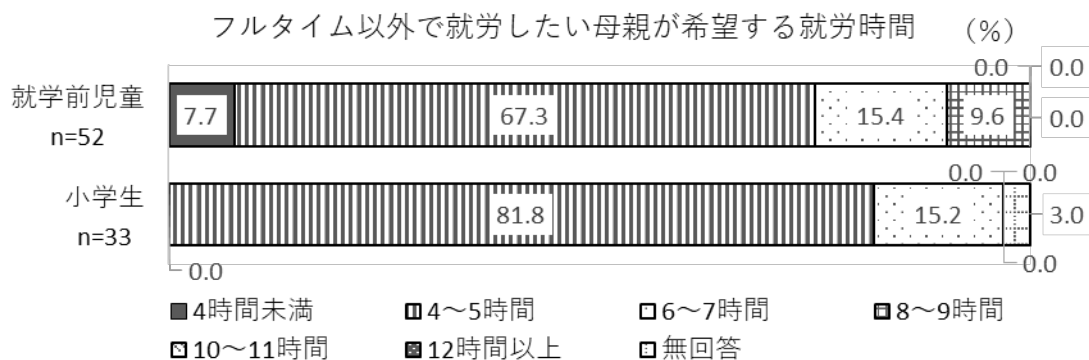
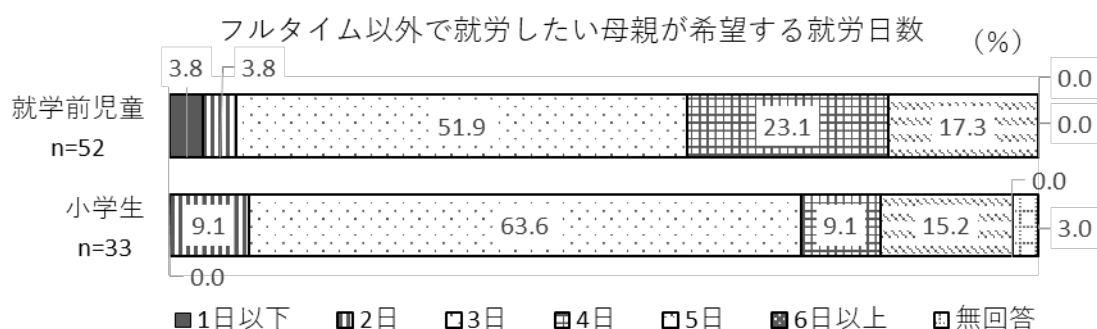
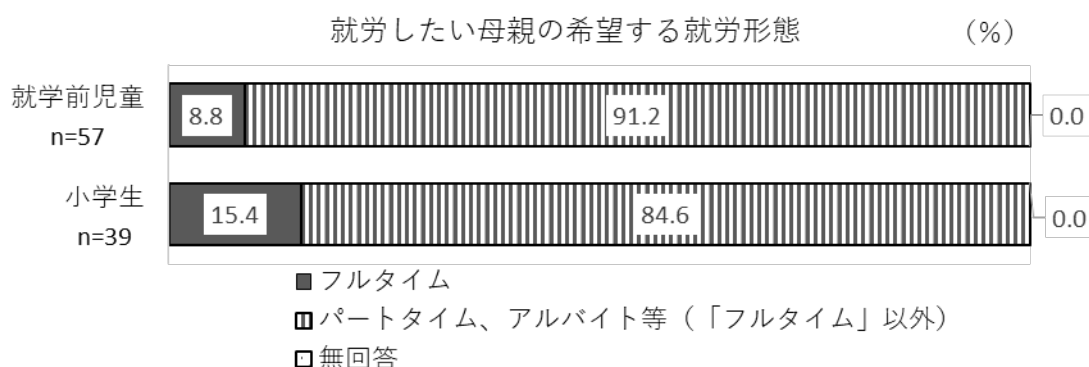
○母親の就労日数については、週に「5日」が就学前児童では75.8%、小学生では56.8%で最多となっています。就労時間については、1日に「8～9時間」が就学前児童では44.7%、小学生では36.7%で最多となっています。

○母親の出勤時間については、「8時」が就学前児童では44.0%、小学生では55.4%で最多となっています。帰宅時間については、「18～19時」が就学前児童では49.9%、小学生では43.7%で最多となっています。





- 就労していない母親の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等『フルタイム』以外)」が就学前児童では91.2%、小学生では84.6%となっています。
- 「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」を希望する母親の希望する就労日数については、週に「3日」が就学前児童では51.9%、小学生では63.6%となっています。
- 「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」を希望する母親の希望する就労時間については、1日に「4～5時間」が就学前児童では67.3%、小学生では81.8%となっています。

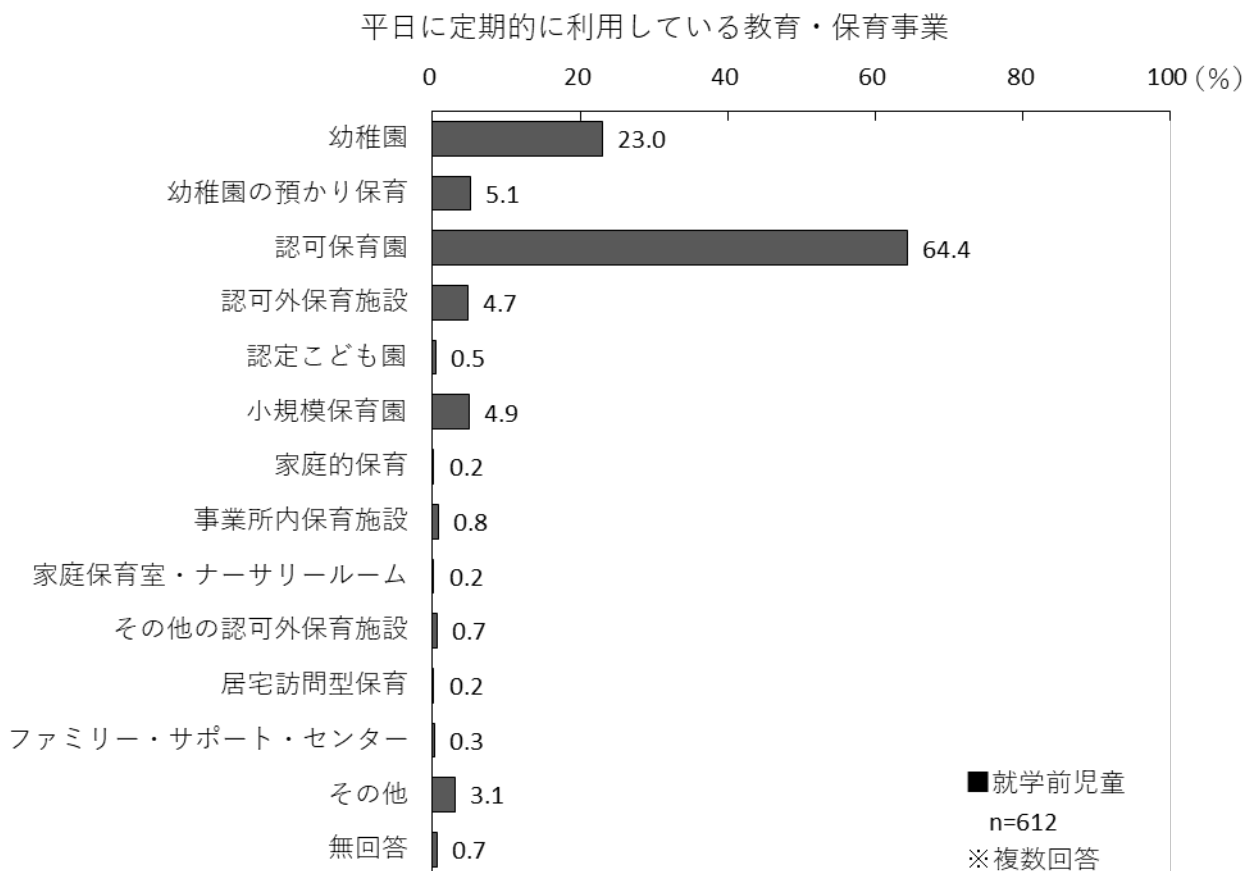
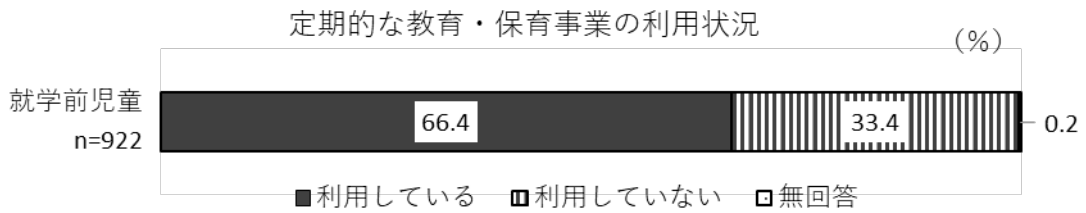


## 5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

### 5-1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

○現在、幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が66.4%と過半を占めています。

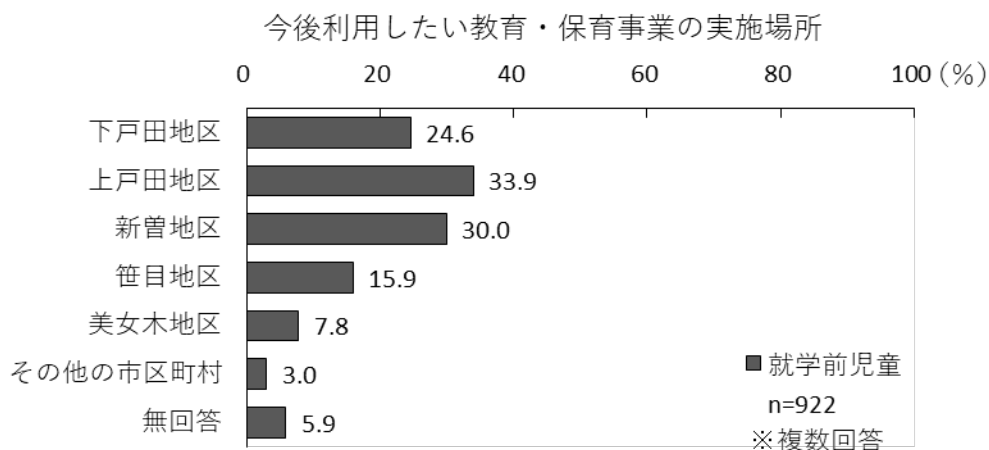
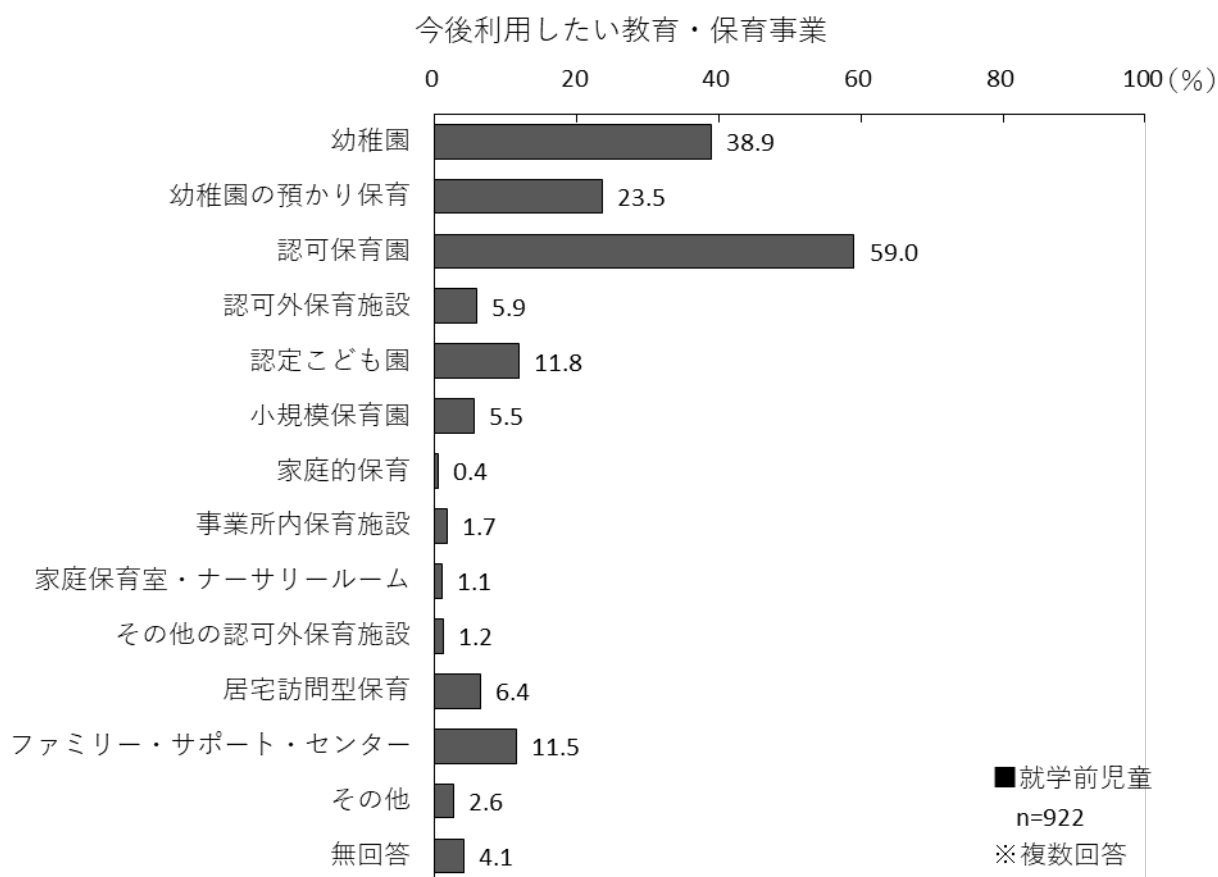
○利用している定期的な教育・保育事業については、「認可保育園」が64.4%と最多を占めています。以下、「幼稚園」が23.0%、「幼稚園の預かり保育」が5.1%と続いています。



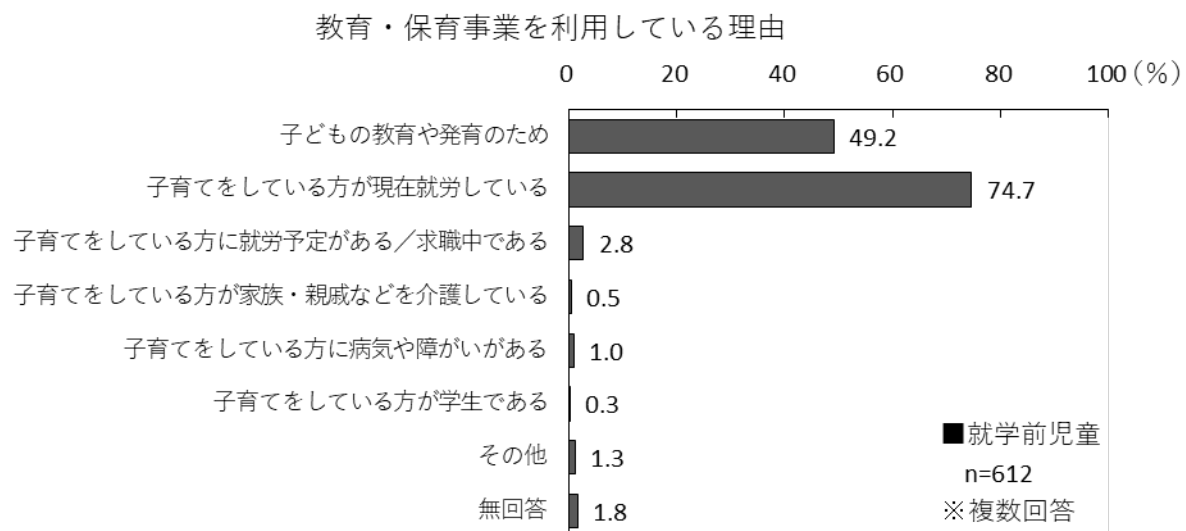
## 5-2. 平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用意向

○現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として、今後、定期的に利用したいと考えている事業については、「認可保育園」が59.0%を占め最多となっています。以下、「幼稚園」が38.9%、「幼稚園の預かり保育」が23.5%と続いています。

○教育・保育事業を利用したい場所については、「上戸田地区」が33.9%で最多となっています。以下、「新曽地区」が30.0%、「下戸田地区」が24.6%と続いています。

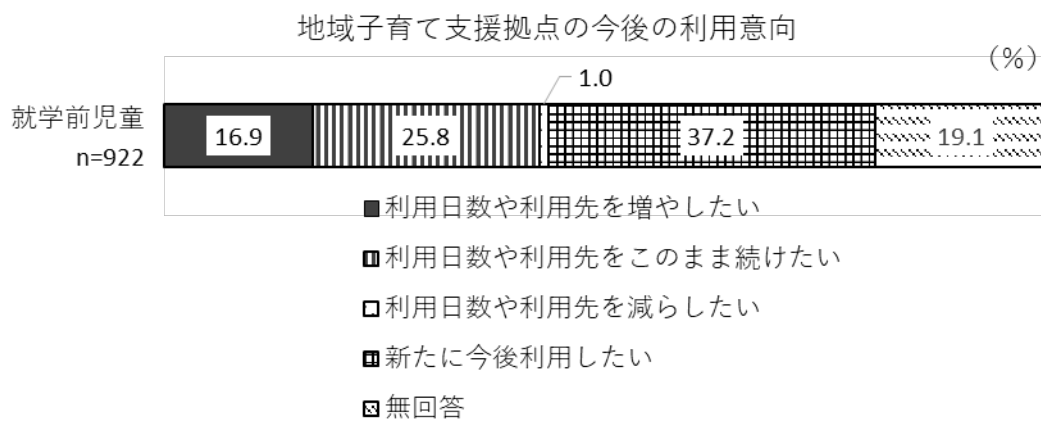


○平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労している」が74.7%を占め最多となっており、「子どもの教育や発育のため」が49.2%でこれに続いています。



## 6-2. 地域子育て支援拠点の今後の利用意向

○戸田市の地域子育て支援拠点の今後の利用意向については、「新たに今後利用したい」が37.2%を占め、最多となっています。以下、「利用日数や利用先をこのまま続けたい」が25.8%、「利用日数や利用先を増やしたい」が16.9%と続いています。

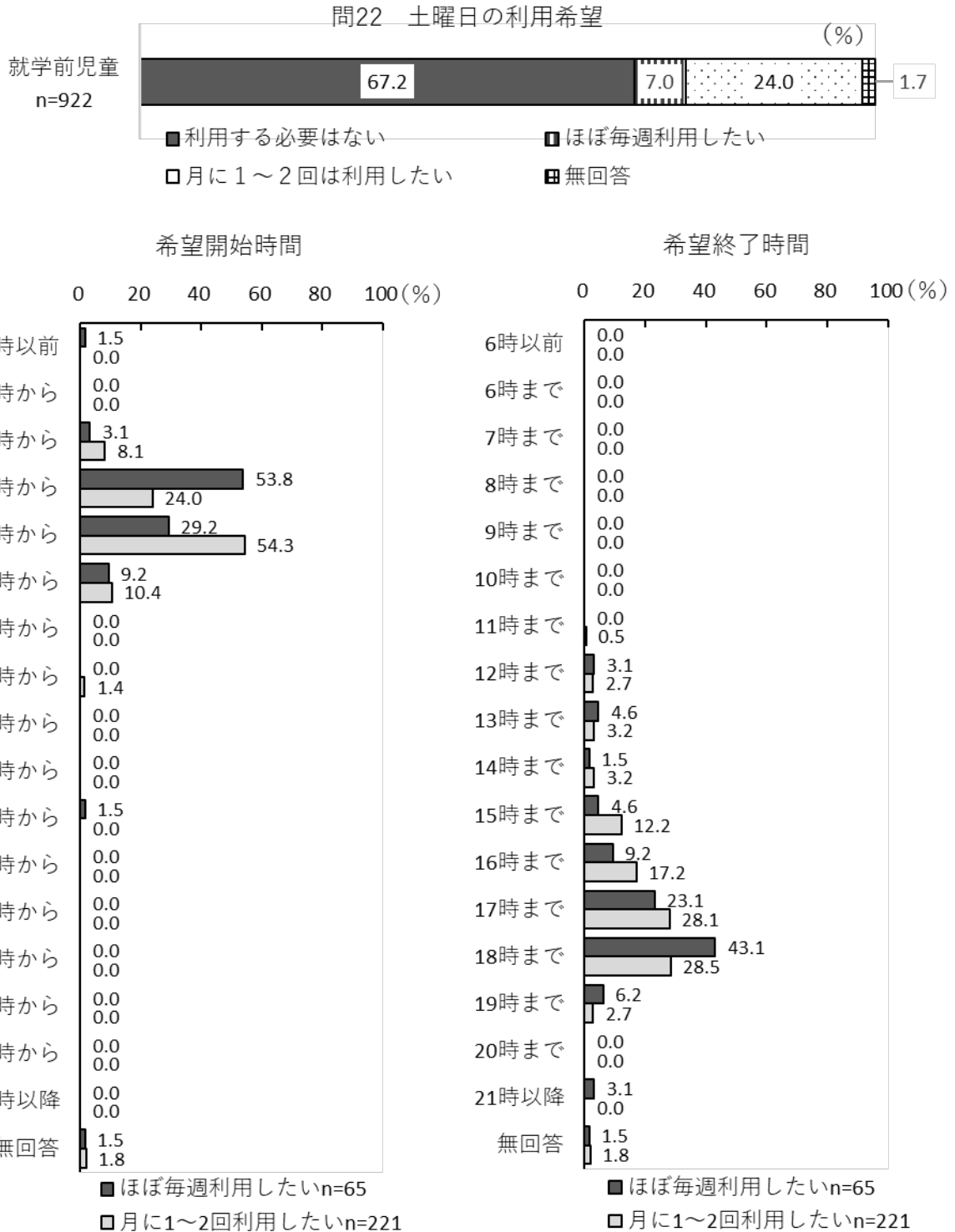


## 7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

### 7-1. 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」が7.0%、「月に1～2回は利用したい」が24.0%を占めています。

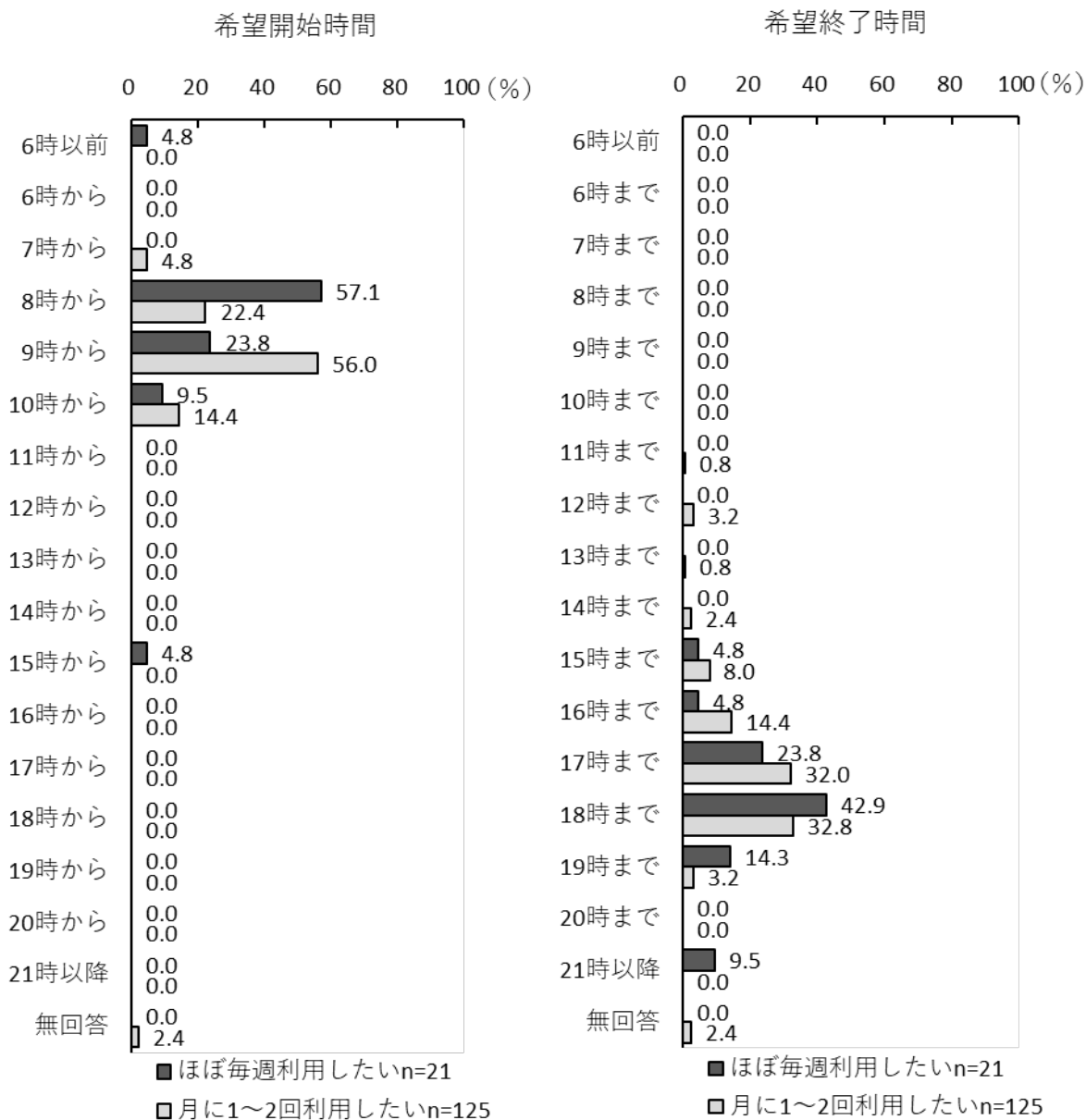
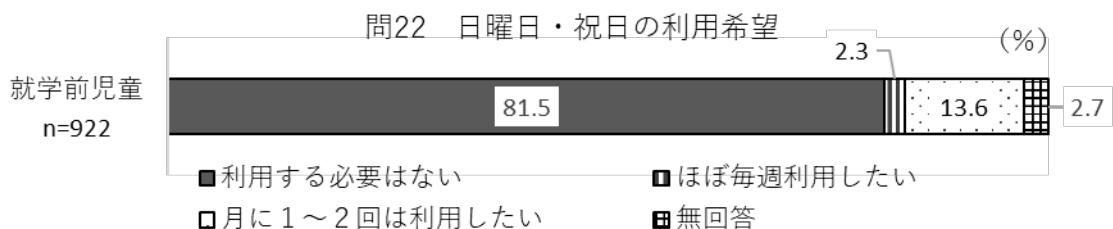
○希望開始時間について、「ほぼ毎週利用したい」では「8時から」が53.8%を占め最多、「月に1～2回は利用したい」では「9時から」が54.3%を占め最多となっています。希望終了時間については、どちらも「18時まで」が最多となっています。



7-2. 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」が2.3%、「月に1～2回は利用したい」が13.6%を占めています。

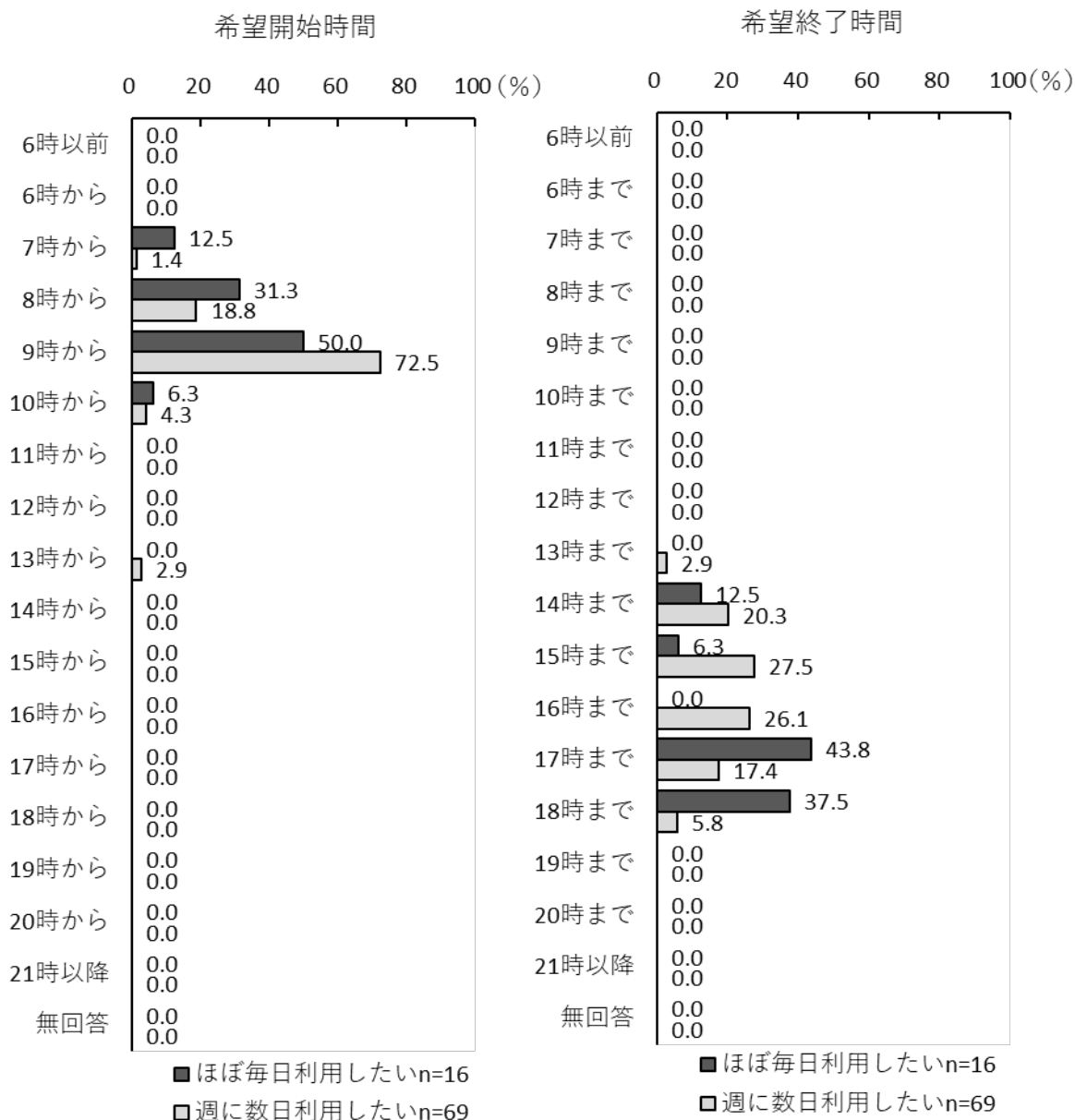
○希望開始時間について、「ほぼ毎週利用したい」では「8時から」が57.1%を占め最多、「月に1～2回は利用したい」では「9時から」が56.0%を占め最多となっています。希望終了時間については、どちらも「18時まで」が最多となっています。



7-3. 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

○夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について、「ほぼ毎日利用したい」が11.2%、「週に数日利用したい」が48.3%を占めています。

○希望開始時間について、「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」ともに「9時から」が最多となっています。希望終了時間については、「ほぼ毎日利用したい」では「17時まで」が最多、「週に数日利用したい」では「15時まで」が最多となっています。

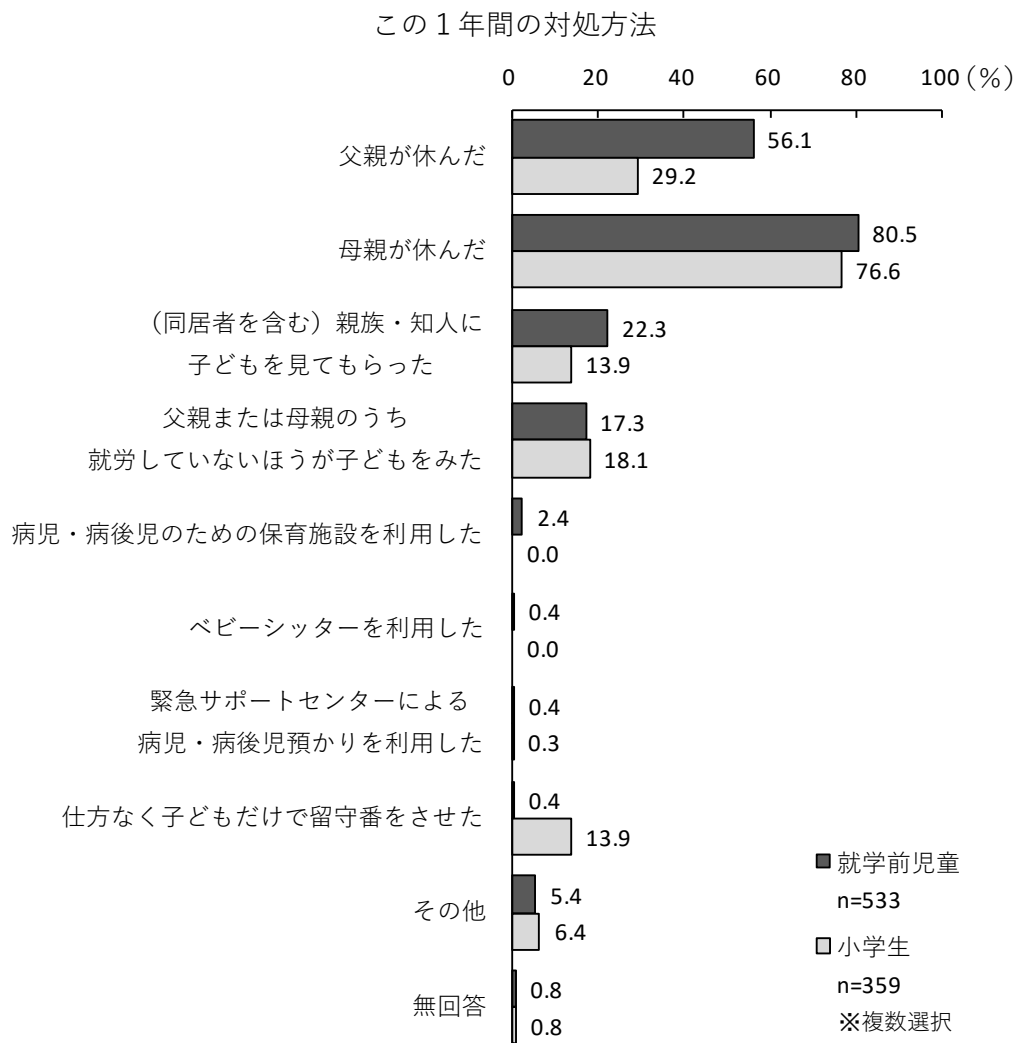
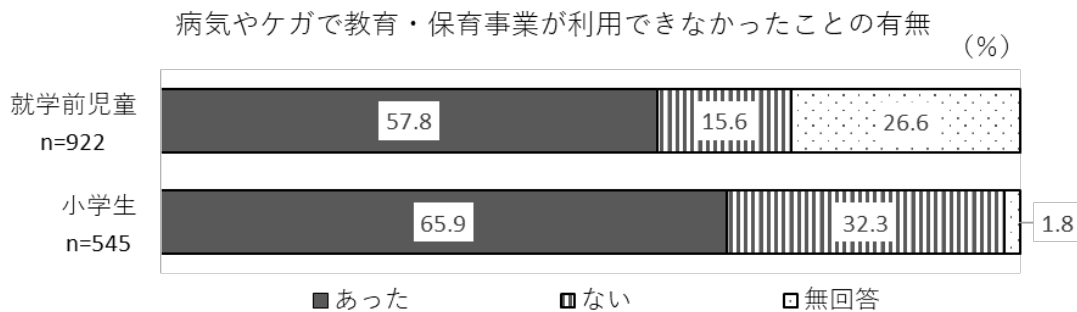




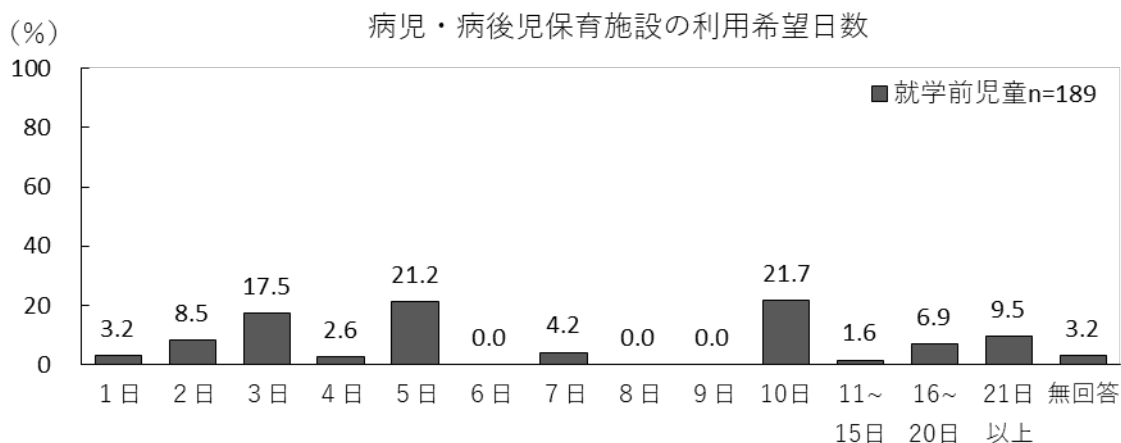
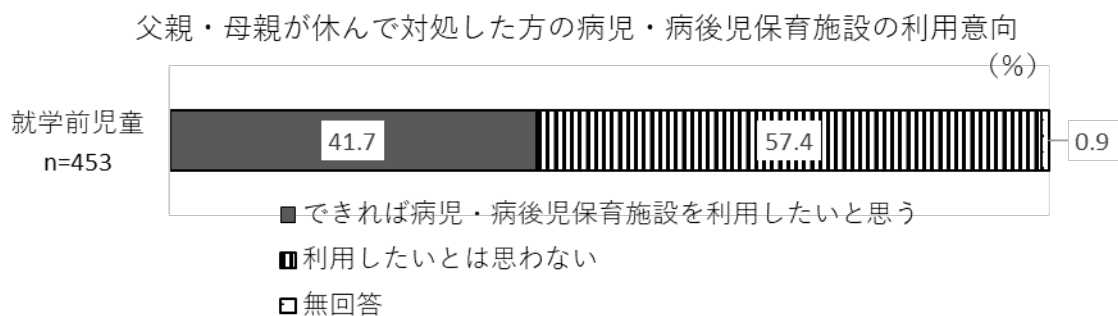
## 8 病気の際の対応

### 8-1. 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できないときの対処法について

- 平日の定期的な教育・保育事業を利用して、この1年間に、子どもの病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことの有無については、「あった」が就学前児童では57.8%、小学生では65.9%を占めています。
- 「あった」際の対処方法については、「母親が休んだ」が就学前児童では80.5%、小学生では76.6%を占め最多となっています。「父親が休んだ」は就学前児童では56.1%、小学生では29.2%を占め、これに続いています。

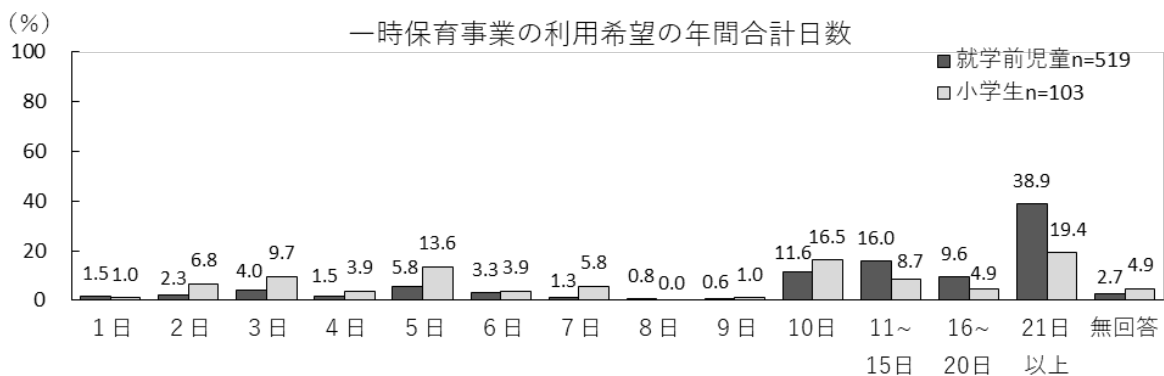
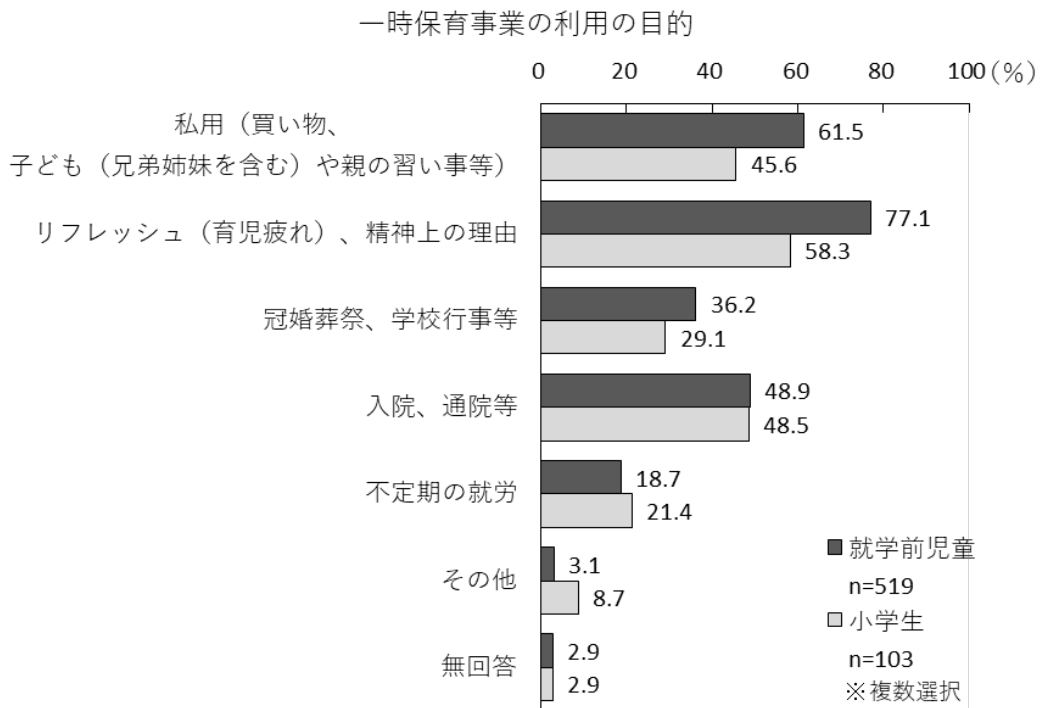
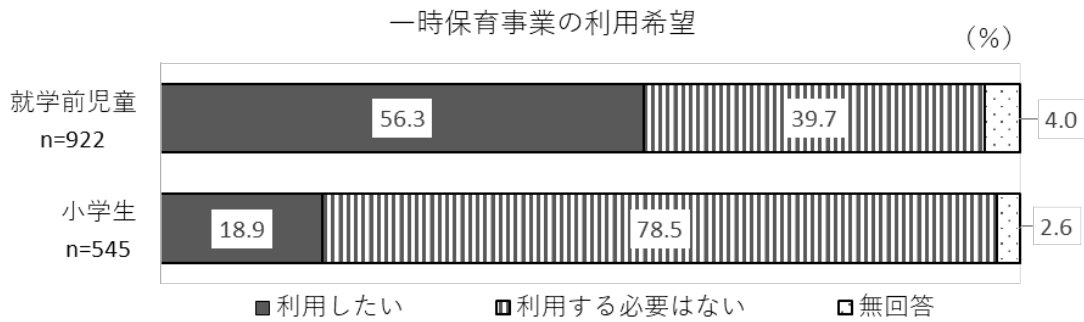


- 父親または母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設等の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設を利用したいと思う」は41.7%を占めています。
- その際の年間希望利用日数は、「10日」が21.7%、「5日」が21.2%、「3日」が17.5%となっています。

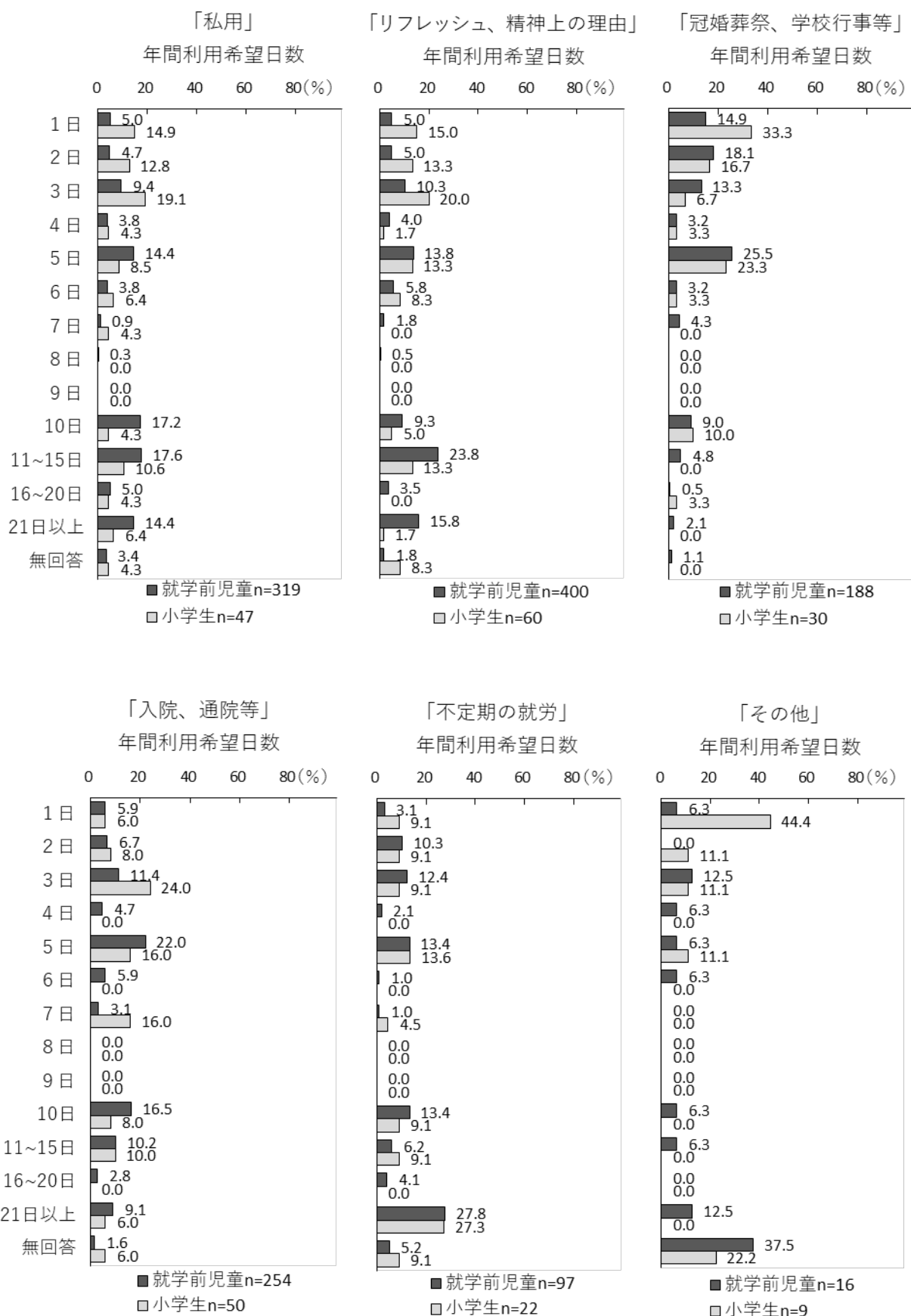


9-2. 一時的な保育事業の利用希望

- 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での、一時保育事業の利用希望については、「利用したい」が就学前児童では56.3%、小学生では18.9%を占めています。
- 一時保育事業の利用目的については、「リフレッシュ（育児疲れ）、精神上的理由」が就学前児童（77.1%）、小学生（58.3%）ともに最多となっています。
- 一時保育事業の利用希望の年間合計日数については、「21日以上」が就学前児童（38.9%）、小学生（19.4%）ともに最多となっています。



○目的別の年間利用日数は、以下の通りです。

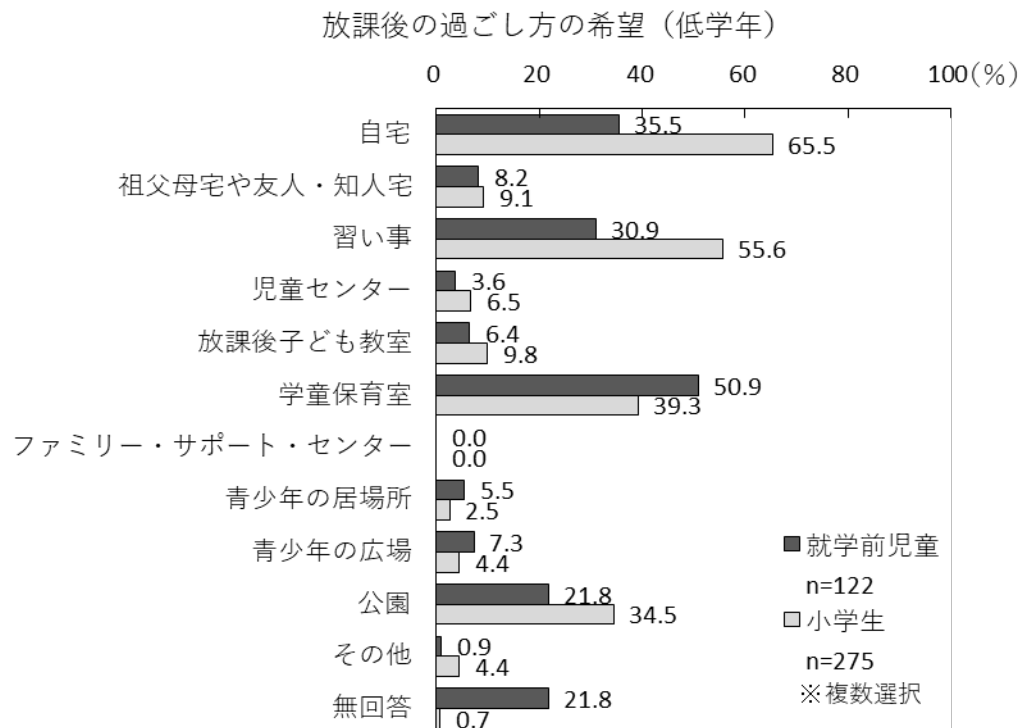


## 10 小学校就学後の放課後の過ごし方

### 10-1. 小学校低学年での放課後の過ごし方の希望

○小学校低学年（1～3年生）での放課後（平日の小学校終了後）過ごさせたい場所については、就学前児童では「学童保育室」が50.9%、小学生では「自宅」が65.5%を占め最多となっています。

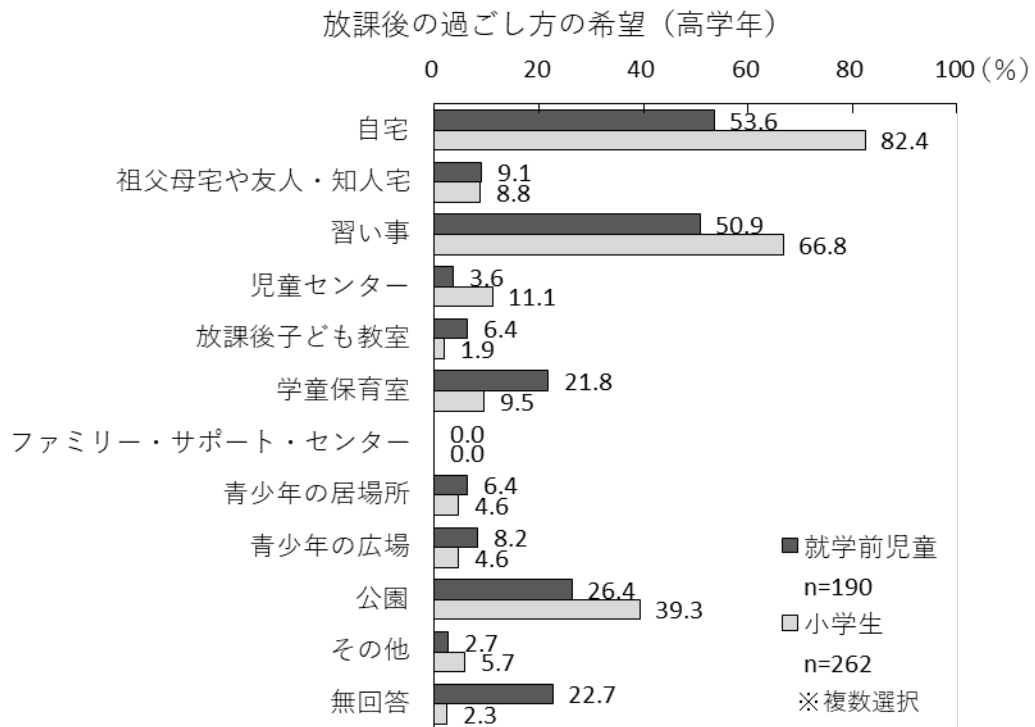
○以下、就学前児童では「自宅」が35.5%、「習い事」が30.9%と続き、小学生では「習い事」が55.6%、「学童保育室」が39.3%と続いています。



### 10-2. 小学校高学年での放課後の過ごし方の希望

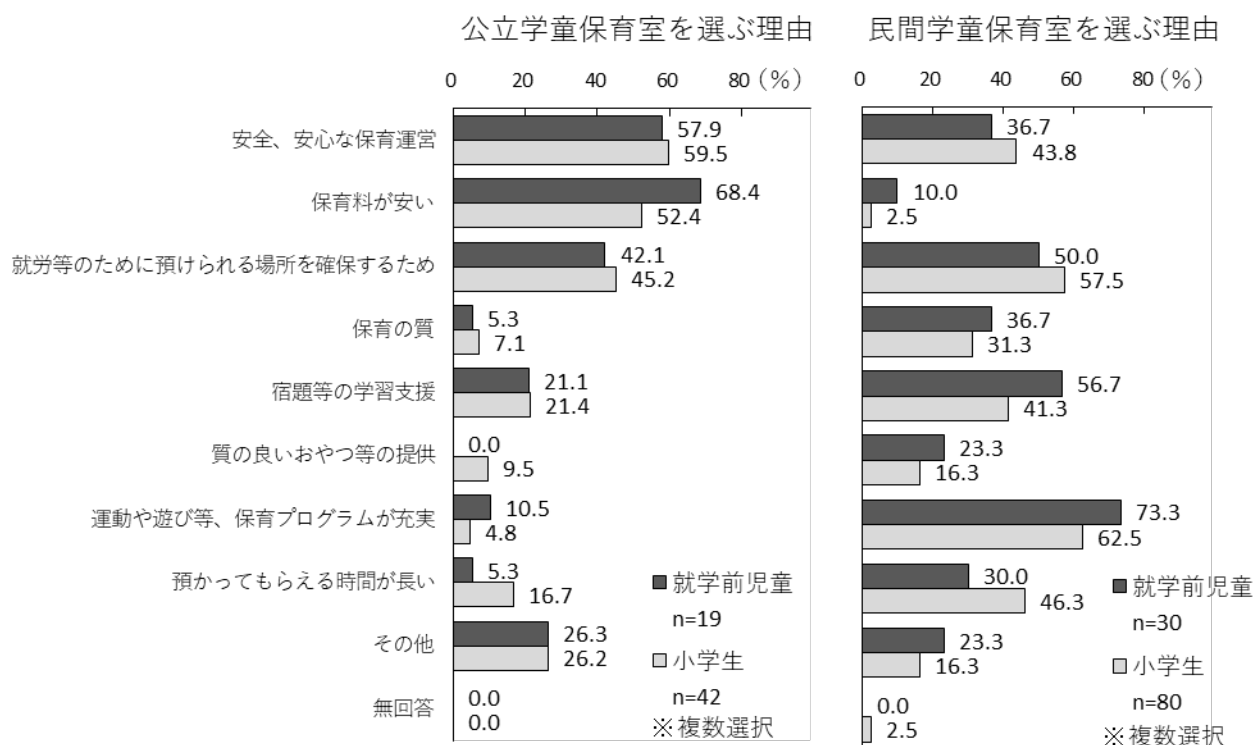
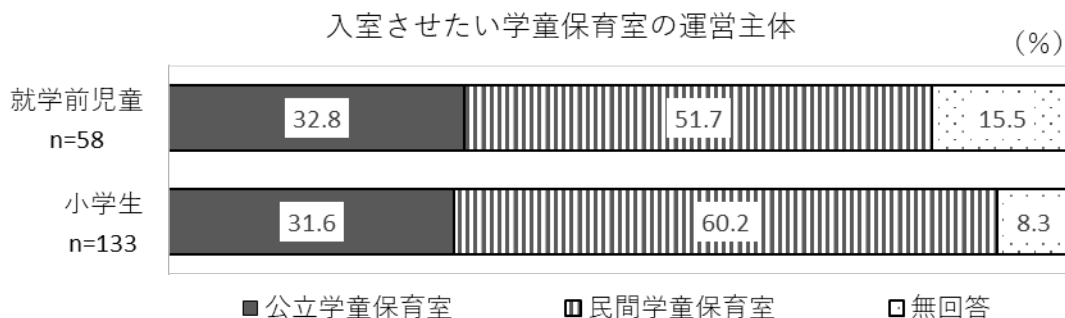
○小学校高学年（4～6年生）での放課後（平日の小学校終了後）過ごさせたい場所については、「自宅」が就学前児童（53.6%）、小学生（82.4%）ともに最多となっています。

○以下、就学前児童、小学生ともに「習い事」、「公園」と続いています。



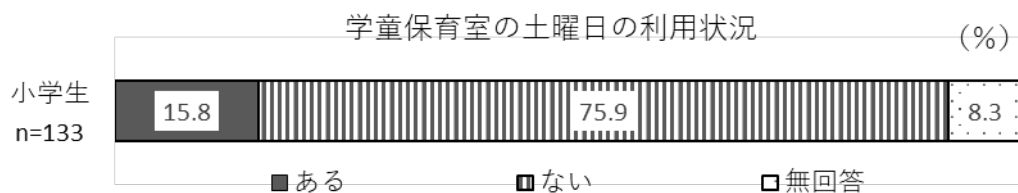
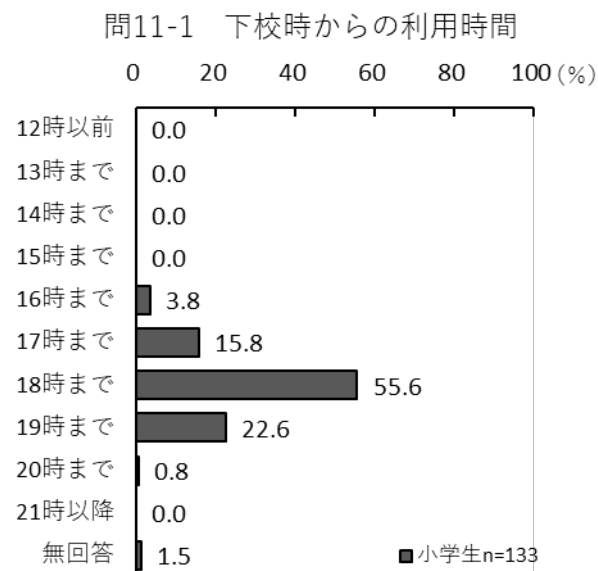
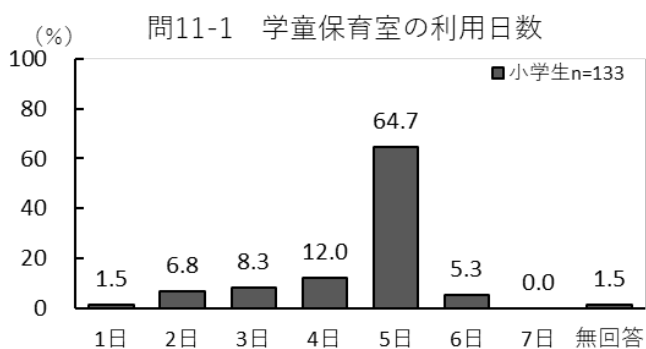
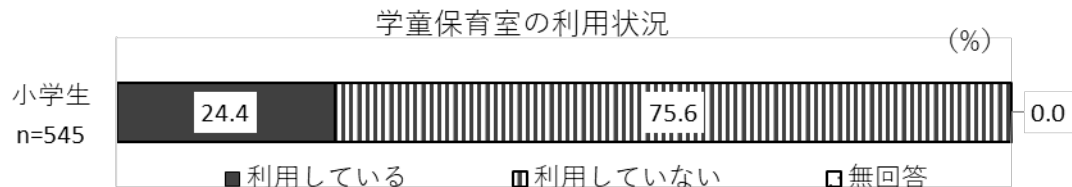
### 10-3. 入室させたい学童保育室の運営主体

- 学童保育室へ入室させたい保護者が希望する学童保育室の運営主体については、「民間学童保育室」が就学前児童では51.7%、小学生では60.2%とそれぞれ過半を占めています。
- 公立学童保育室へ入室させたい理由については、就学前児童では「保育料が安い」が68.4%、小学生では「安全、安心な保育運営」が59.5%を占め最多となっています。
- 民間学童保育室へ入室させたい理由については、習い事的な要素として「運動や遊び等、保育プログラムが充実」が就学前児童（73.3%）、小学生（62.5%）ともに最多となっています。



#### 10-4. 小学生の学童保育室の利用状況

- 現在、小学生で学童保育室を「利用している」は24.4%となっています。
- 学童保育室の利用日数については、「5日」が64.7%、下校時から何時まで利用しているかについては、「18時まで」が55.6%を占め、最多となっています。
- 学童保育室の土曜日の利用は、「ある」が5.8%、「ない」が75.9%となっています。



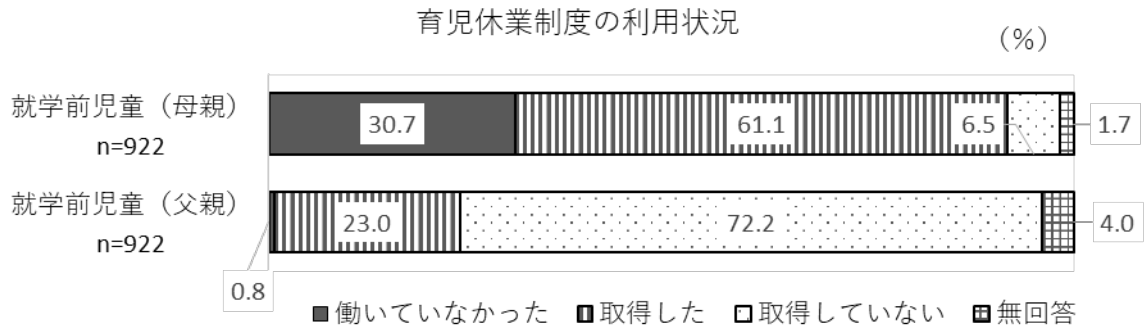


# 11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

## 11-1. 育児休業制度の利用状況

○子どもが生まれたときの母親の育児休業制度の利用状況については、「取得した」が61.1%を占め、最多となっています。

○子どもが生まれたときの父親の育児休業制度の利用状況については、「取得していない」が72.2%を占め、最多となっています。

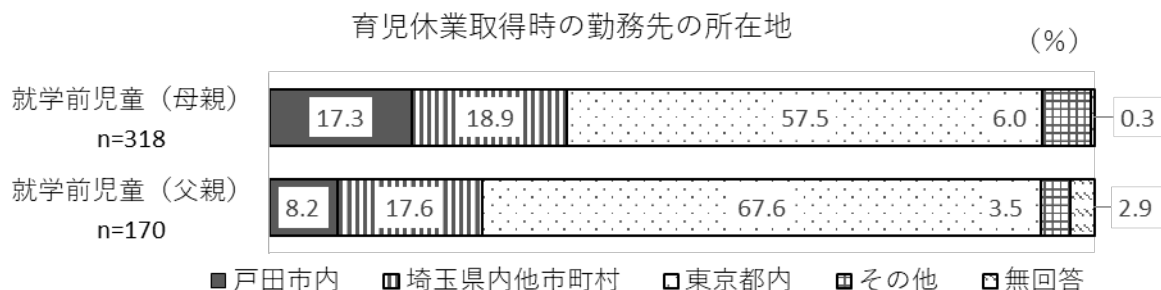
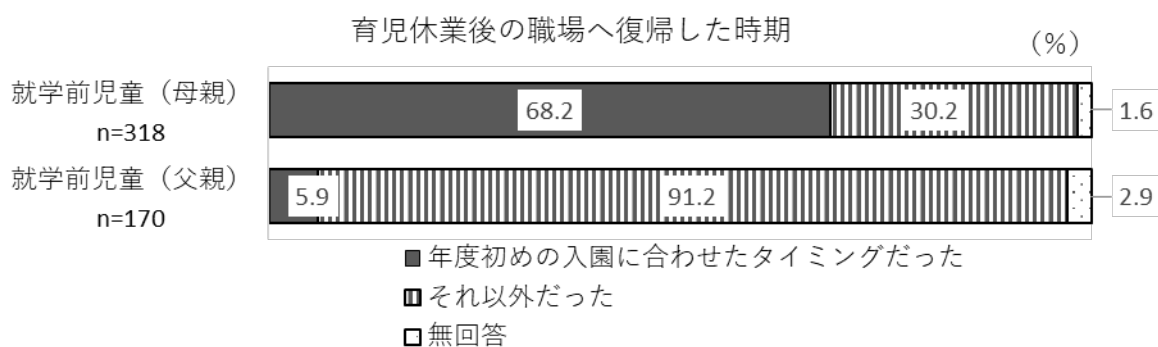
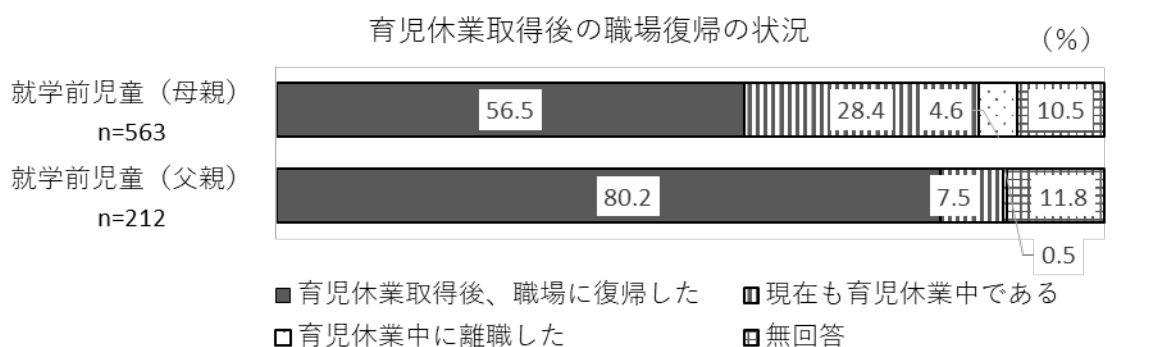


## 11-2. 職場復帰の状況

○育児休業取得後の職場復帰については、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が56.5%、「現在も育児休業中である」が28.4%となっています。父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が80.2%を占めています。

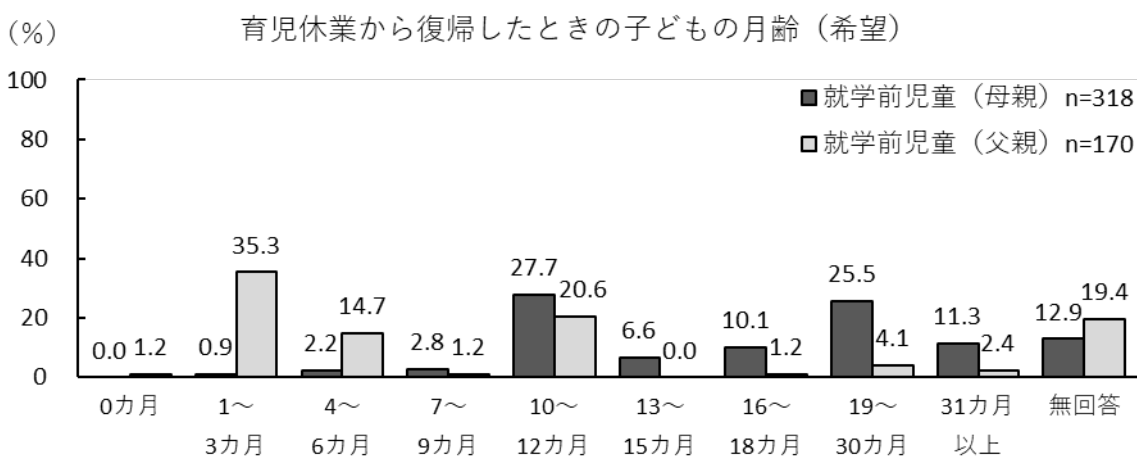
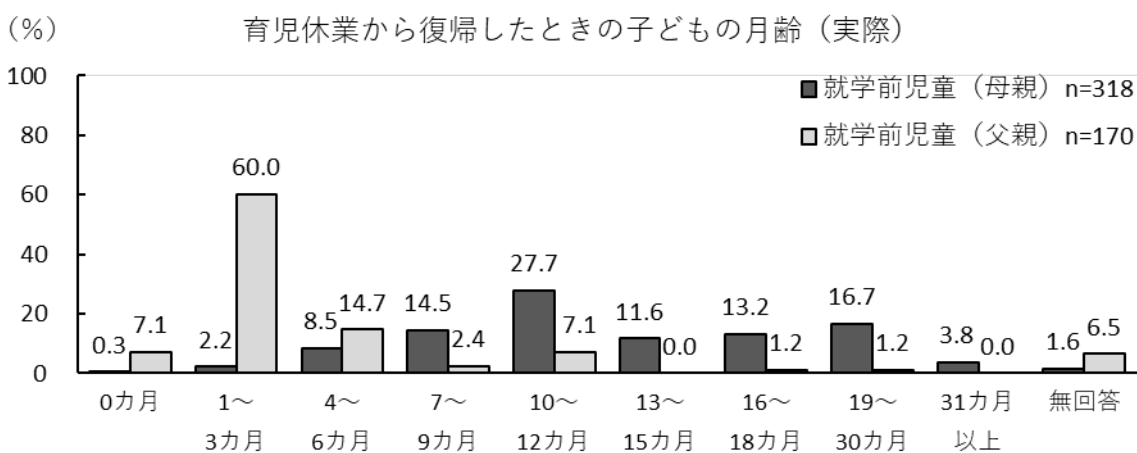
○職場復帰時期については、母親では保育園の「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が68.2%となっています。父親では「それ以外だった」が91.2%となっています。

○育児休業を取得した時の勤務先の所在地については、「東京都内」が母親（57.5%）、父親（67.6%）ともに過半を占めています。



○実際に職場復帰したときの子どもの月齢については、母親では「10～12カ月」が27.7%で最多となっています。父親では「1～3カ月」が60.0%を占め、最多となっています。

○希望としての職場復帰するときの子どもの月齢については、母親では「10～12カ月」が27.7%で最多と、実際に職場復帰したときの月齢と同様ではあるも、13カ月以上の割合は合わせて53.5%と、子どもが1歳を超えてからの復帰を希望している状況がうかがえます。父親でも「1～3カ月」(35.3%)が最多と、実際に職場復帰したときの月齢と同様ではあるも、「10～12カ月」が20.6%にのぼり、子どもが1歳になる頃の復帰を希望している状況がうかがえます。

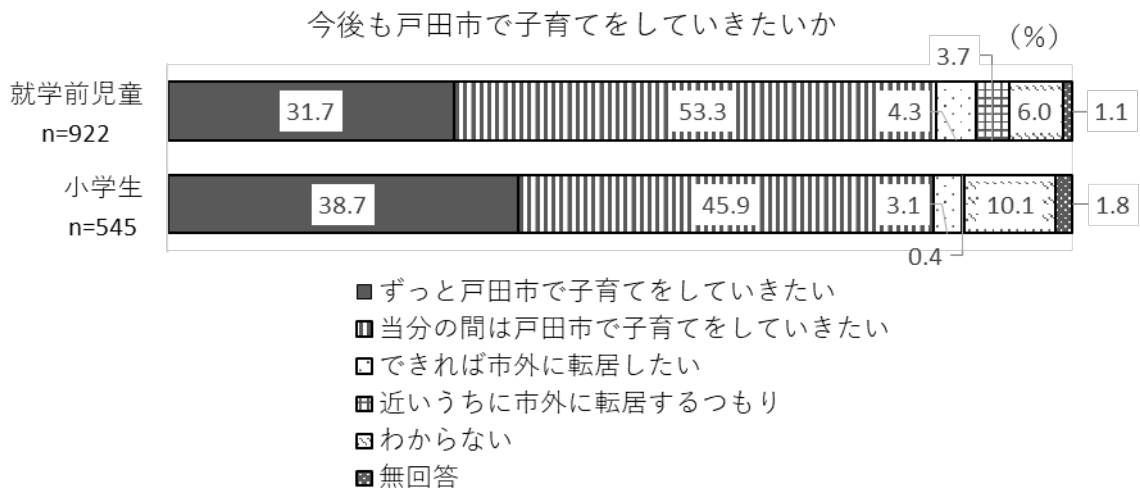
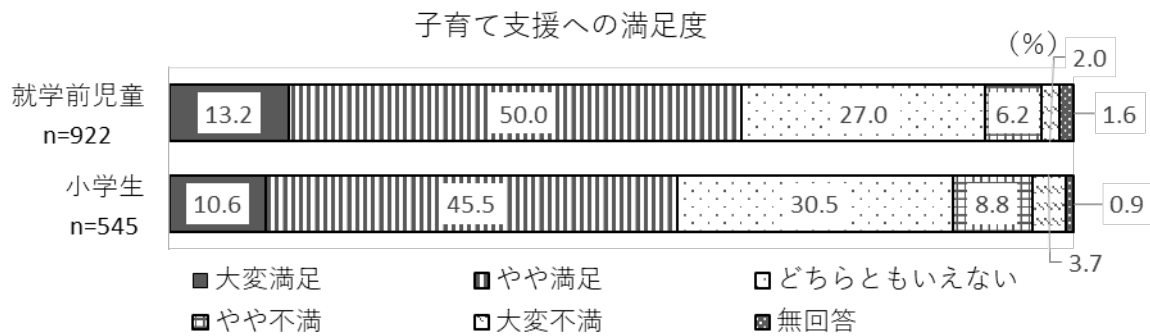


## 12 戸田市の子育て支援

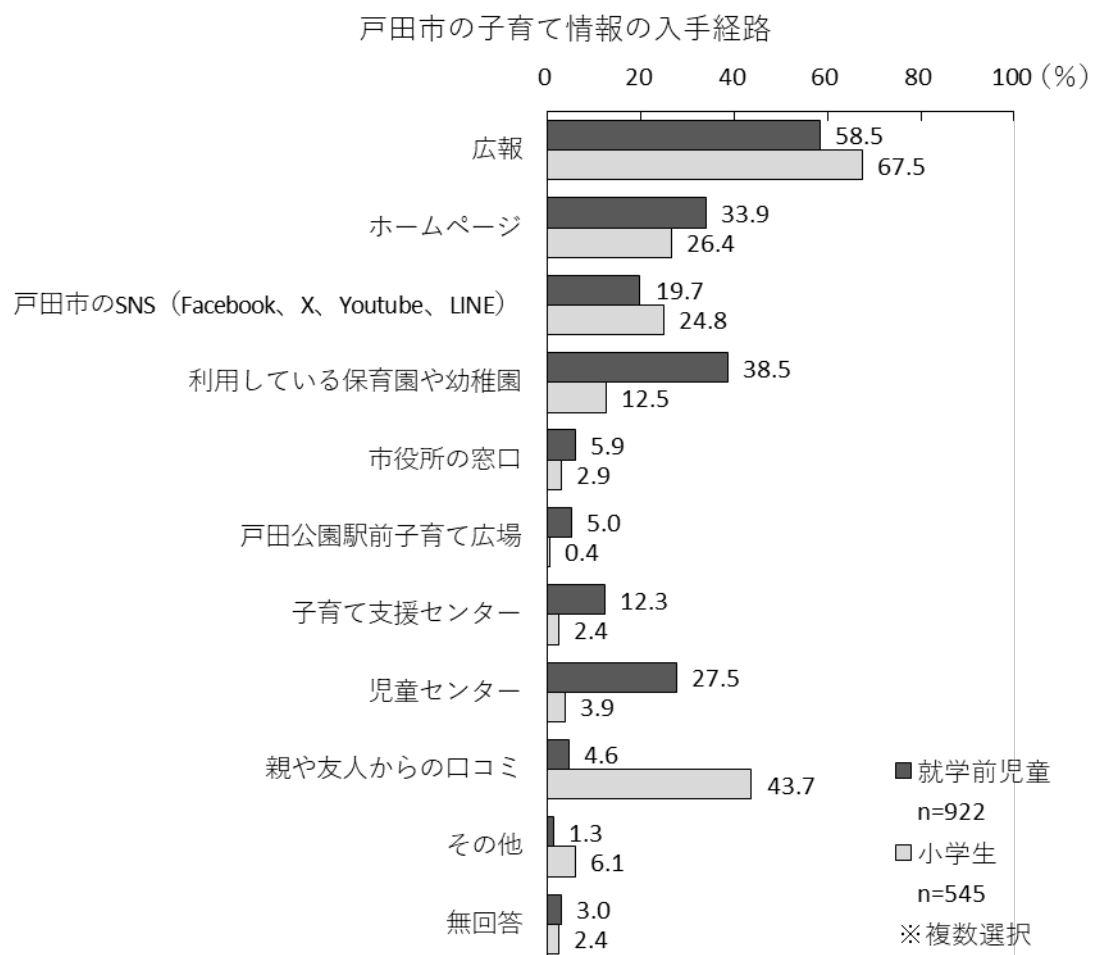
### 12-1. 子育ての環境や支援への満足度

○戸田市の子育て支援については、「大変満足」「やや満足」を合わせ、就学前児童では63.2%、小学生では56.1%が満足しています。

○戸田市での子育てを継続する意向については、「当分の間は戸田市で子育てをしていきたい」が就学前児童では53.3%、小学生では45.9%を占め、最多となっています。

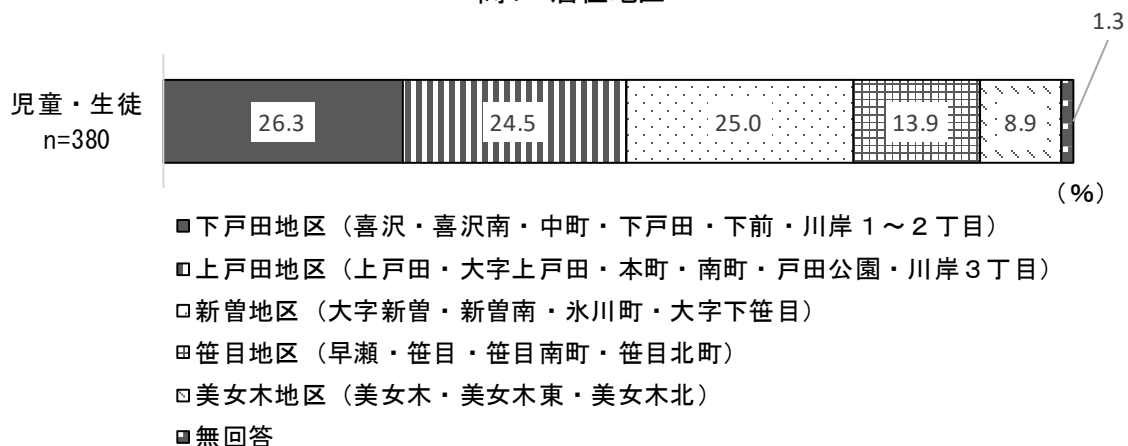


○戸田市の子育てに関する情報をどのように入手しているかについては、「広報」が就学前児童では58.5%、小学生では67.5%を占め、最多となっています。「親や友人からの口コミ」は、小学生では43.7%を占めているのに対し、就学前児童では4.6%にとどまっており、情報の入手経路に違いがみられています。



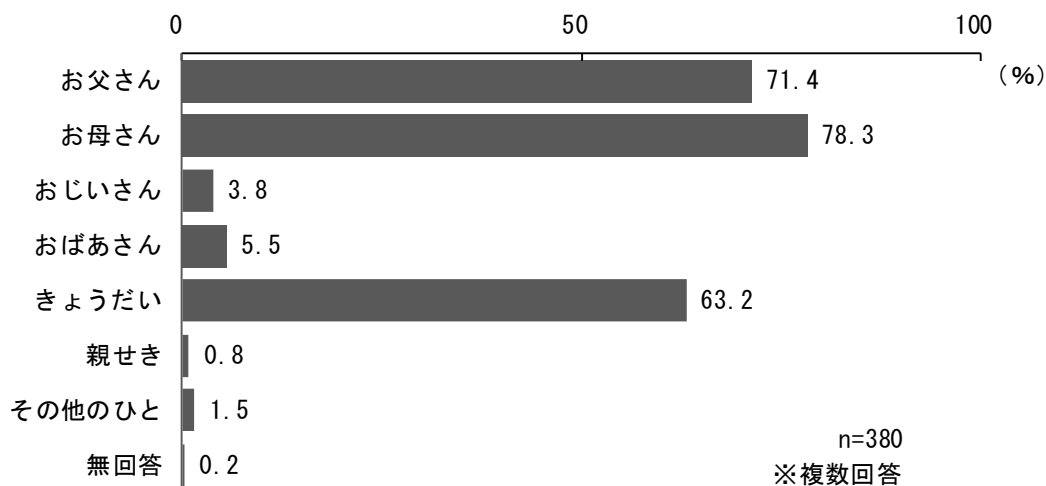
○居住している地区は以下のとおりです。

問4 居住地区



○一緒に住んでいる家族は以下のとおりです。

問5 一緒に住んでいる人



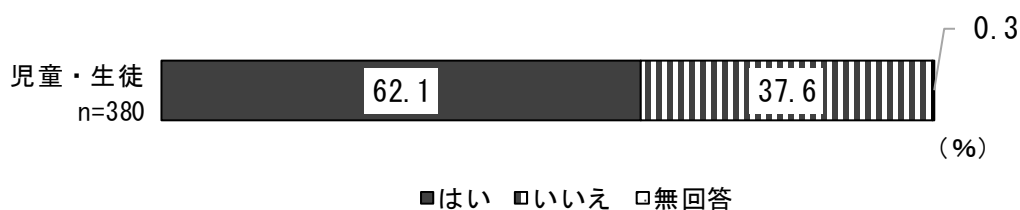
## 2 ふだんの生活

### 2-1. 習い事や塾

○放課後や休日に習い事や塾に通っているかについては、「はい」が62.1%と過半を占めています。

○通っている習い事や塾の数については、「1つ」が55.5%と最も多く、以下、「2つ」(25.8%)、「3つ以上」(18.6%)と続いています。

問6 習い事や塾に通っているか

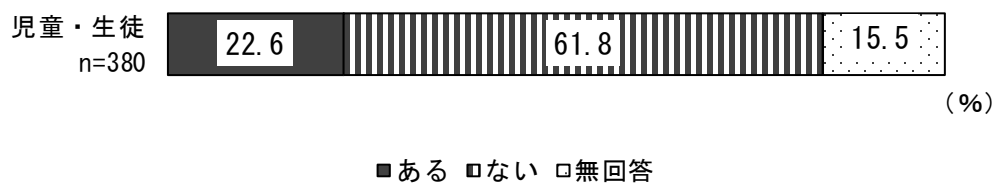


問7 習い事や塾にいくつ通っているか



○今後通いたい習い事や塾があるかどうかについては、「ある」が22.6%、「ない」が61.8%となっています。

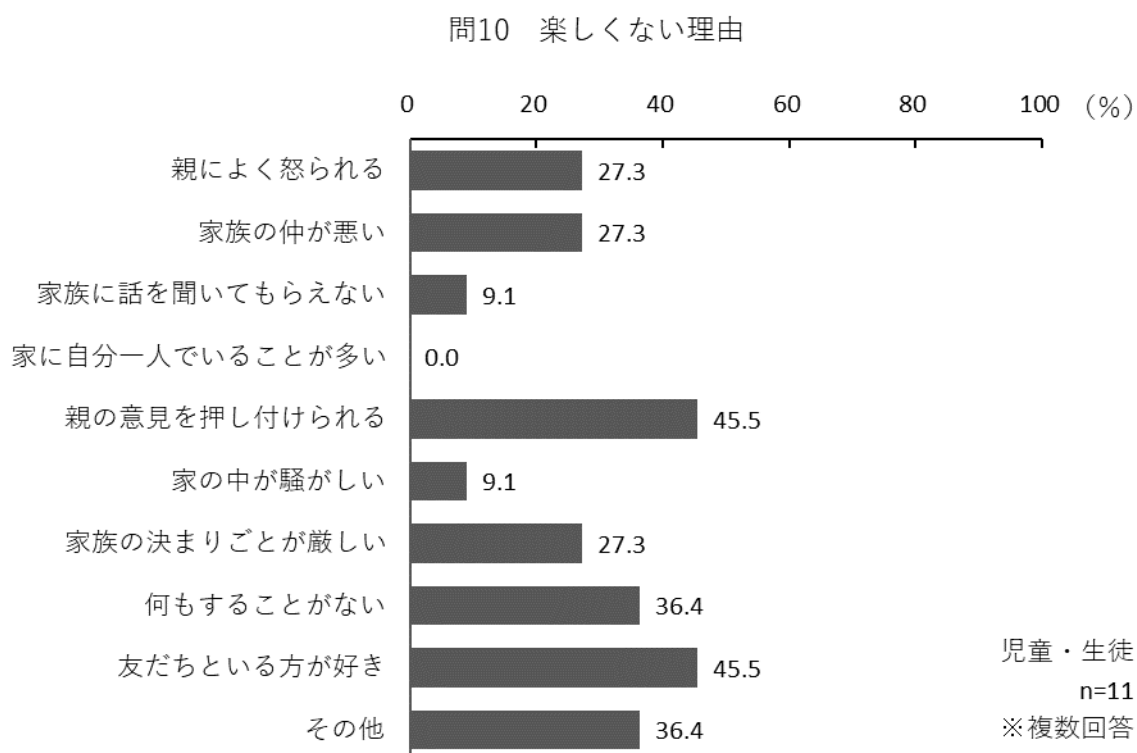
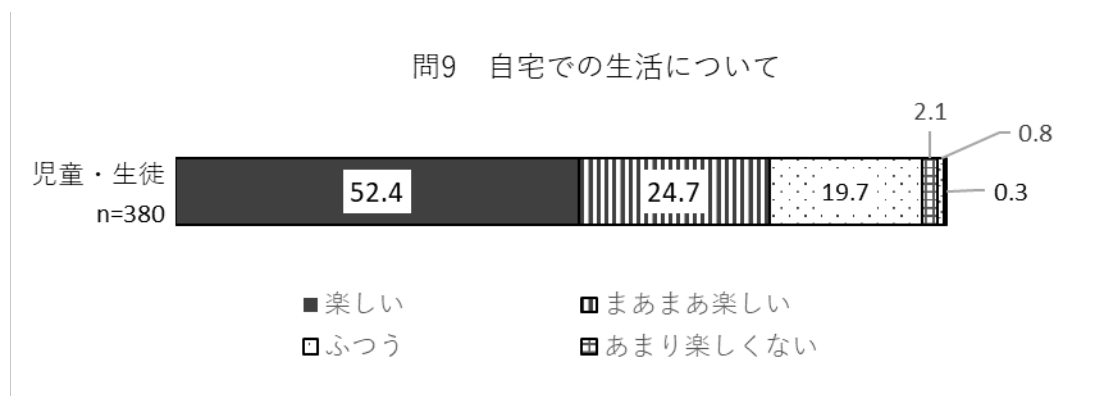
問8 通いたい習い事や塾はあるか



## 2-2. 自宅での生活

○自宅での生活については、「楽しい」が52.4%を占め最多となっています。「楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせ、全体の77.1%は自宅での生活を楽しいと感じています。

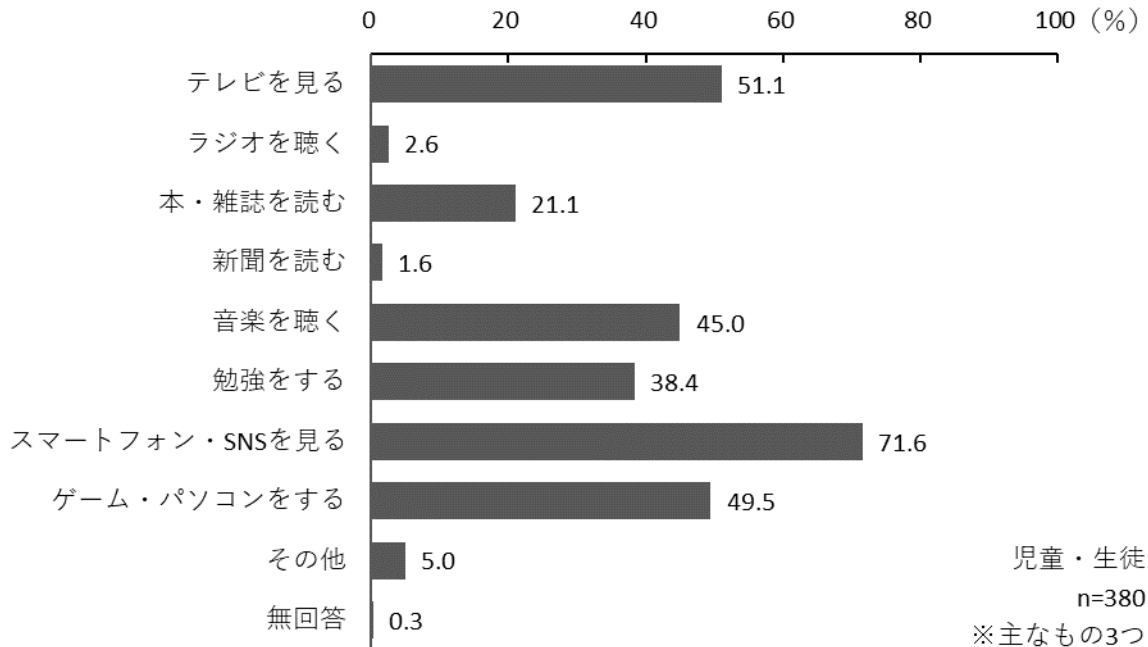
○自宅での生活が楽しくない理由については、「親の意見を押し付けられる」と「友だちという方が好き」が45.5%を占め、最多となっています。





○自宅でよくすることについては、「スマートフォン・SNSを見る」が71.6%を占め最多となっています。以下、「テレビを見る」が51.1%、「ゲーム・パソコンをする」が49.5%、「音楽を聴く」が45.0%と僅差が続いています。

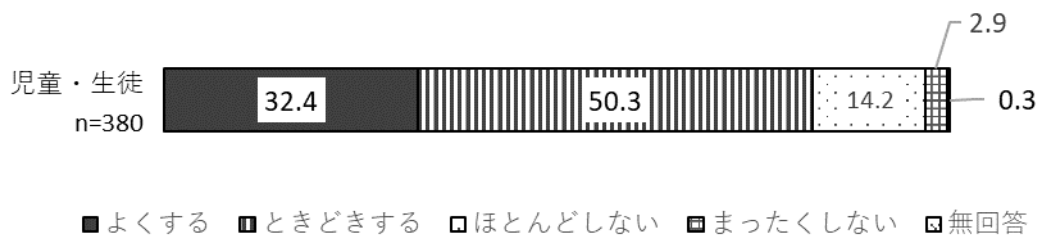
問11 自宅でよくすること



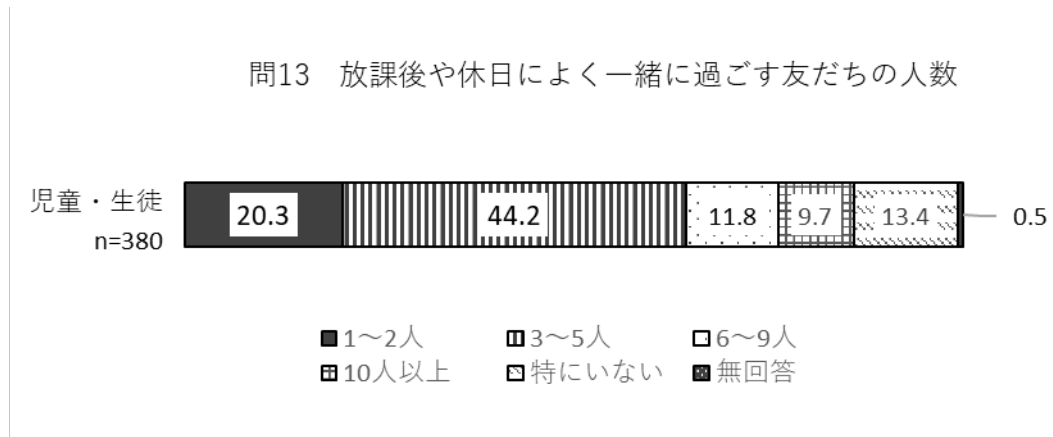
### 2-3. 放課後や休日の過ごし方

○放課後や休日における外出については、「ときどきする」が50.3%を占め最多となっています。「よくする」と合わせ、全体の82.7%が外出しています。

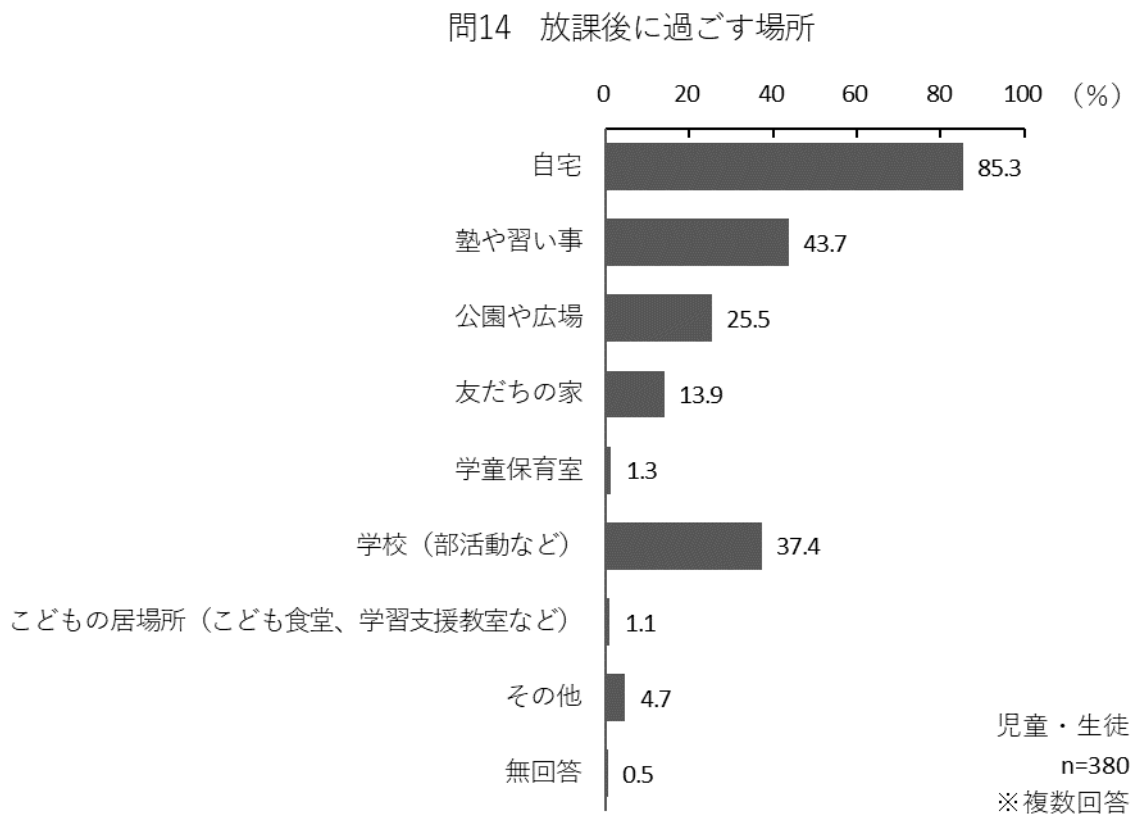
問12 放課後や休日の外出状況



○放課後や休日によく一緒に過ごしたり、遊んだりする友だちの人数については、「3～5人」が44.2%を占め最多となっており、「1～2人」が20.3%でこれに続いています。一方、「特にいない」は13.4%となっています。

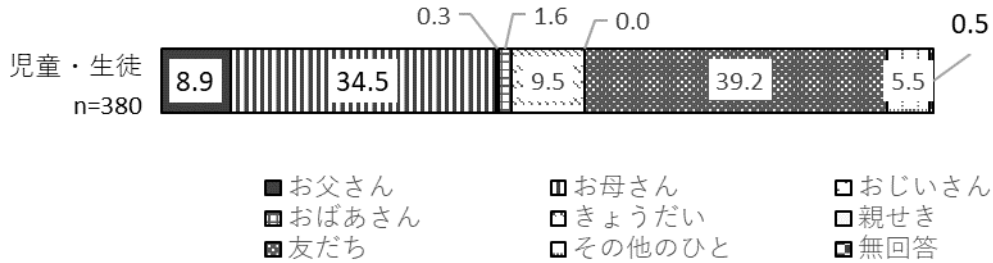


○放課後に過ごす場所については、「自宅」が85.3%で最も多く、「塾や習い事」が43.7%、「学校（部活動など）」が37.4%と続いています。



○放課後に過ごすことが多い人については、「友だち」が39.2%で最も多く、次いで「お母さん」が34.5%、「きょうだい」が9.5%となっています。

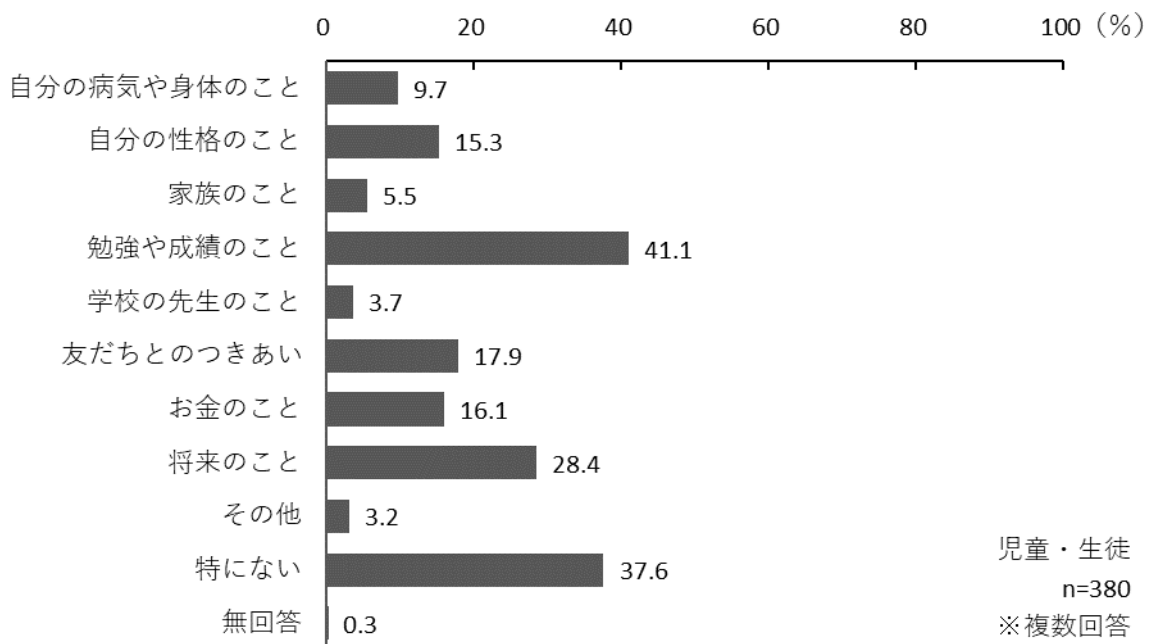
問15 放課後に過ごすことが多い人



### 3 悩みごと、困りごと

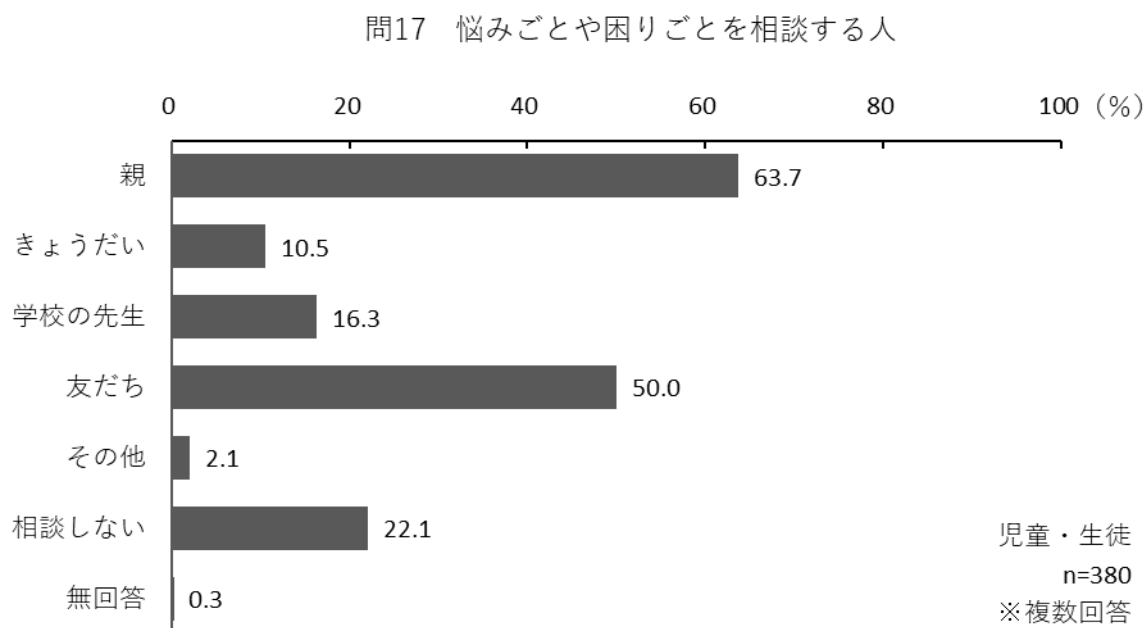
○現在悩んでいることや困っていることについては、「勉強や成績のこと」が41.1%で最も多く、「将来のこと」(28.4%)、「友だちとのつきあい」(17.9%)なども多くなっています。「特にない」は37.6%を占めています。

問16 悩んでいること、困っていること

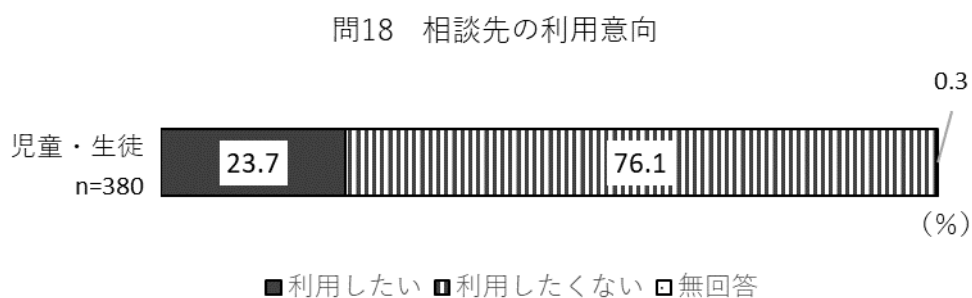


児童・生徒  
n=380  
※複数回答

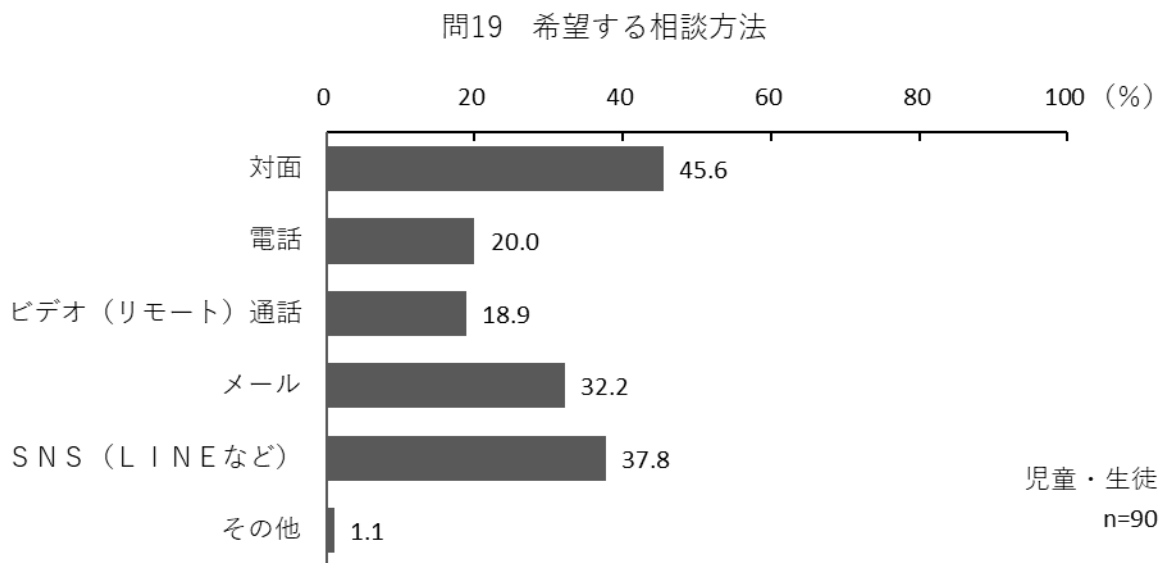
○悩みごとや困りごとの相談相手については、「親」が63.7%で最も多く、次いで「友だち」が50.0%となっています。一方、人に「相談しない」は22.1%を占めています。



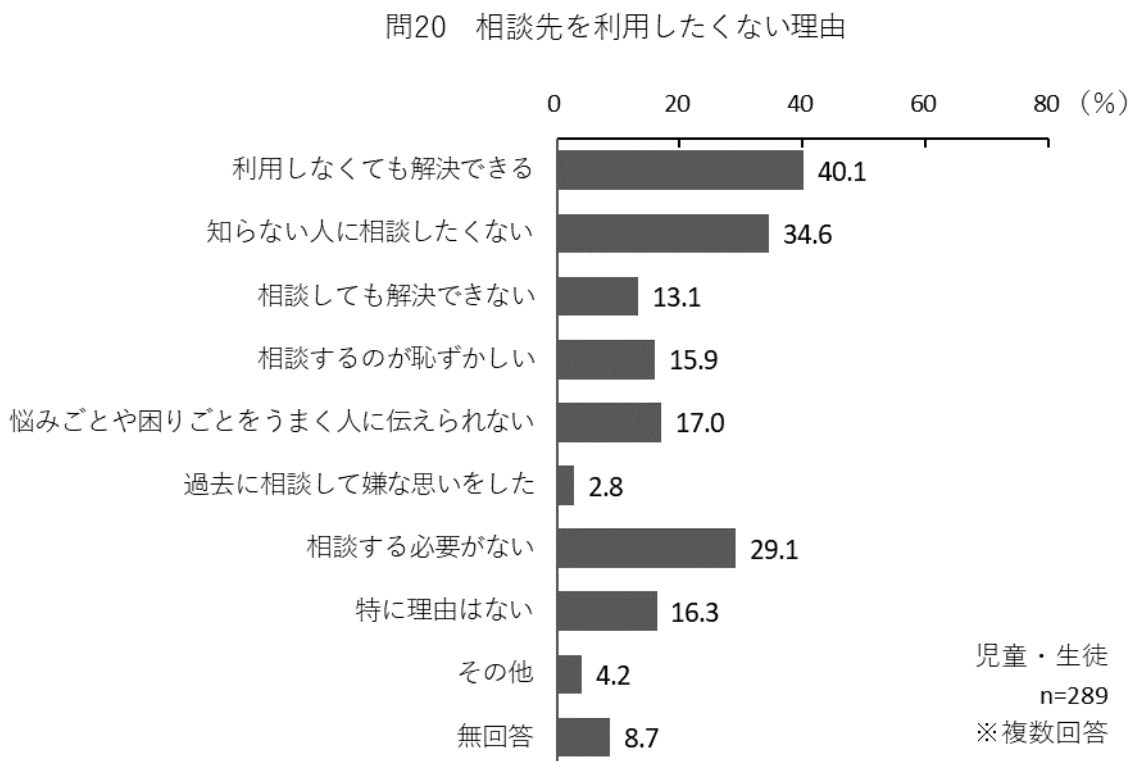
○気軽に相談できる場所があれば利用したいと思うかどうかについては、「利用したい」が23.7%、「利用したくない」が76.1%となっています。



○相談先に対して、希望する相談方法については、「対面」が45.6%と最多で、以下、「SNS（LINEなど）」が37.8%、「メール」が32.2%と続いています。



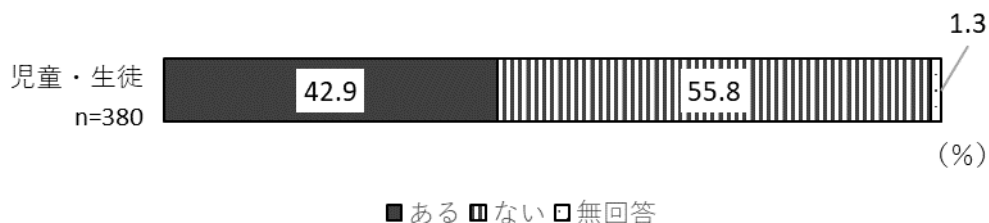
○相談先を利用したくない理由については、「利用しなくても解決できる」が40.1%と最多で、以下、「知らない人に相談したくない」が34.6%、「相談する必要がある」が29.1%と続いています。



## 4 こどもの居場所

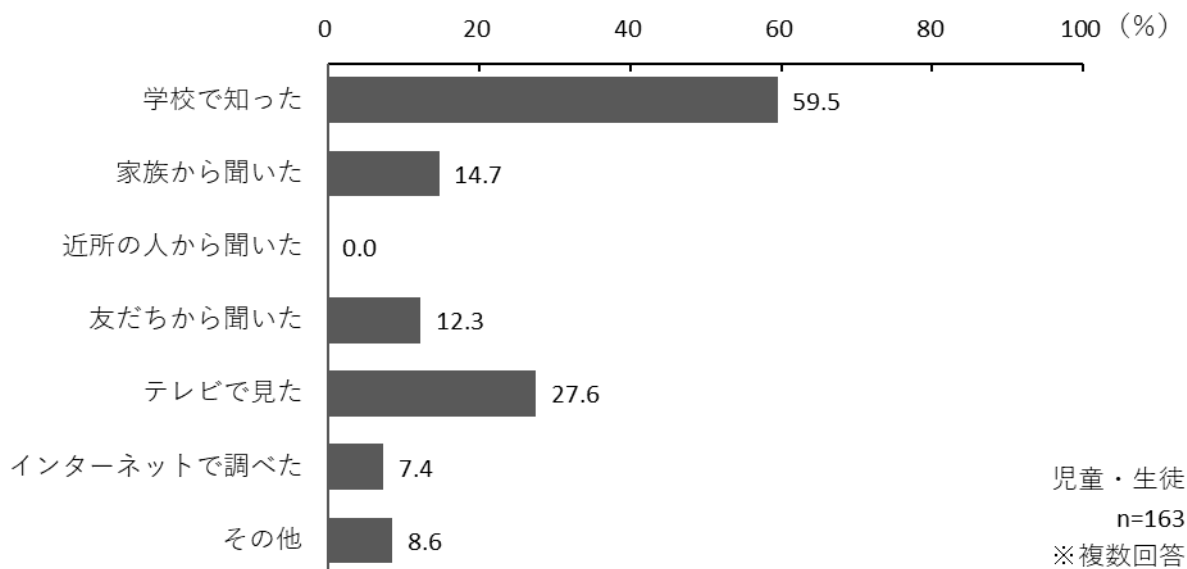
○「こどもの居場所」という言葉を聞いたことがあるかどうかについては、「ある」が42.9%、「ない」が55.8%となっています。

問22 「こどもの居場所」という言葉を聞いたことがあるか



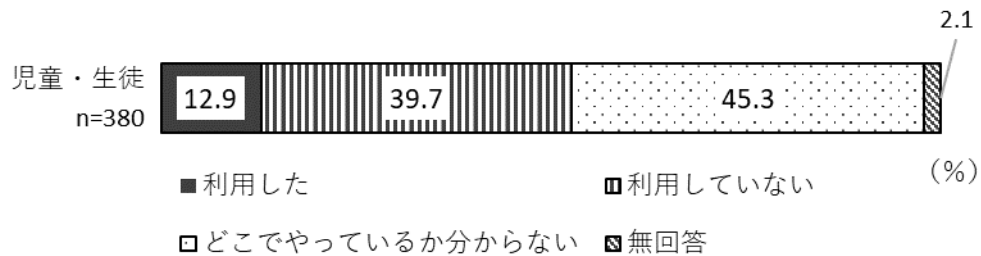
○「こどもの居場所」という言葉をどのようにして知ったかについては、「学校で知った」が59.5%を占め、最多となっています。以下、「テレビで見た」が27.6%、「家族から聞いた」が14.7%と続いています。

問23 「こどもの居場所」をどのようにして知ったか



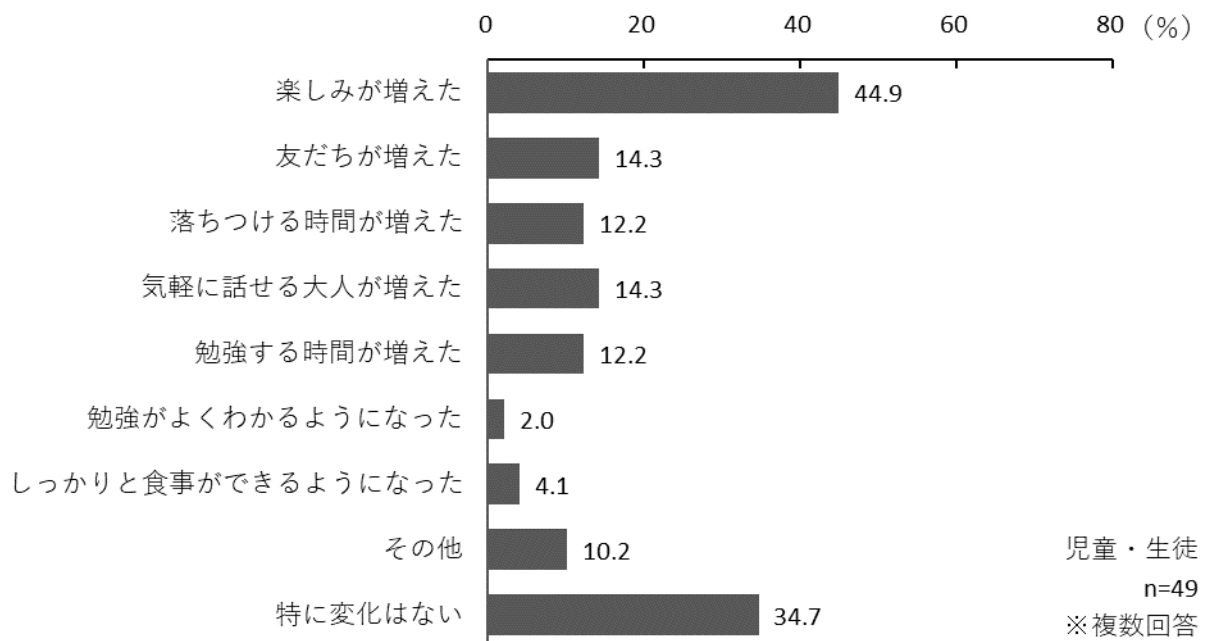
○戸田市内で実施しているこども食堂や学習支援教室などの「こどもの居場所」を利用した経験については、「どこでやっているか分からない」が45.3%を占め、最多となっています。「利用した」は12.9%、「利用していない」は39.7%となっています。

問24 「こどもの居場所」の利用状況

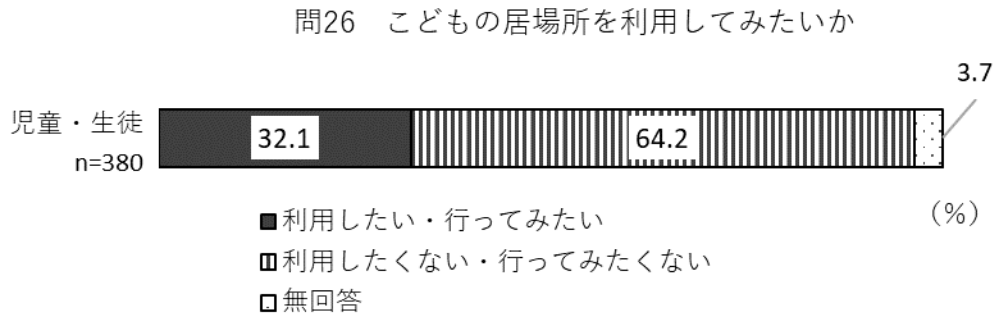


○戸田市内で実施している「こどもの居場所」を利用したことで、それ以前と変化したことについては、「楽しみが増えた」が44.9%を占め、最多となっています。以下、「特に変化はない」が34.7%、「友だちが増えた」が14.3%と続いています。

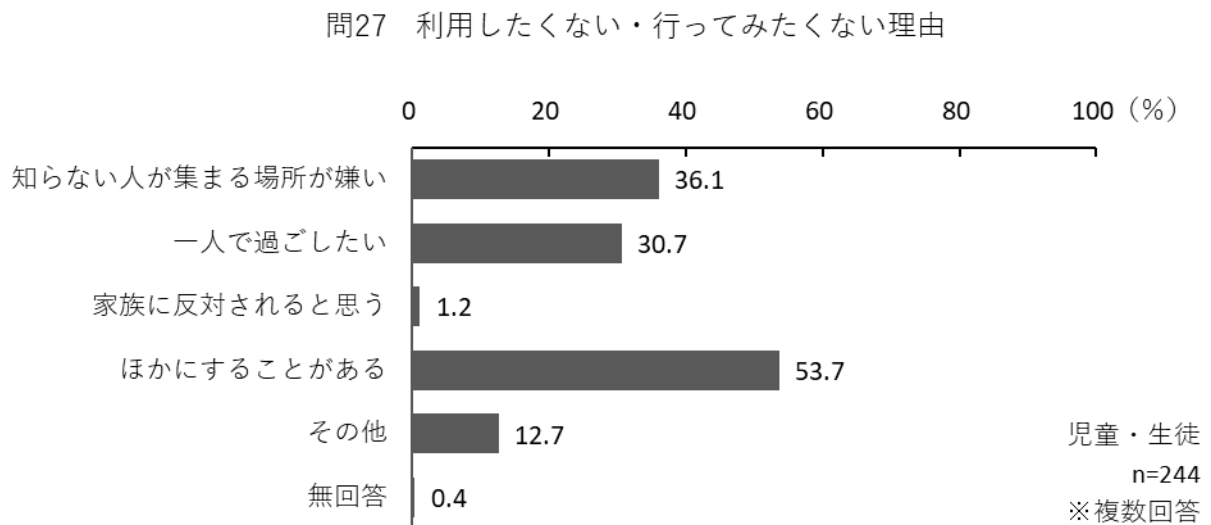
問25 「こどもの居場所」利用後の変化



○戸田市内で実施しているこども食堂や学習支援教室などの「こどもの居場所」を利用、または行ってみたいかについては、「利用したい・行ってみたい」が32.1%、「利用したくない・行ってみたい」が64.2%となっています。



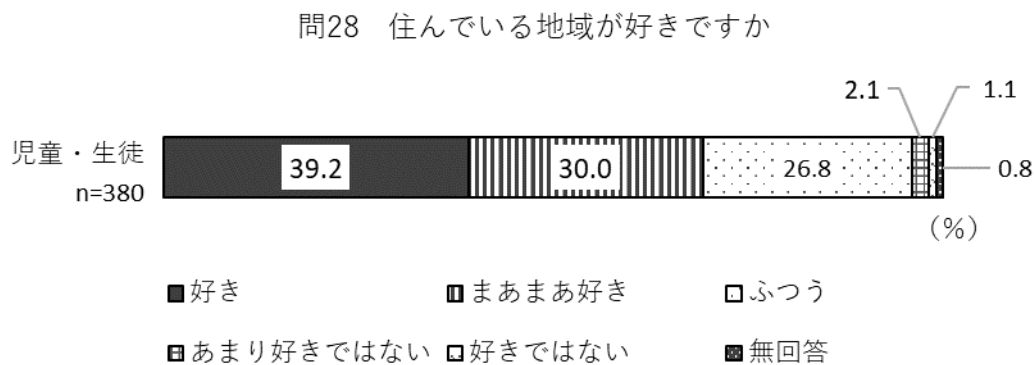
○「こどもの居場所」を利用したくない・行ってみたい理由については、「ほかにすることがある」が53.7%を占め、最多となっています。以下、「知らない人が集まる場所が嫌い」が36.1%、「一人で過ごしたい」が30.7%と続いています。



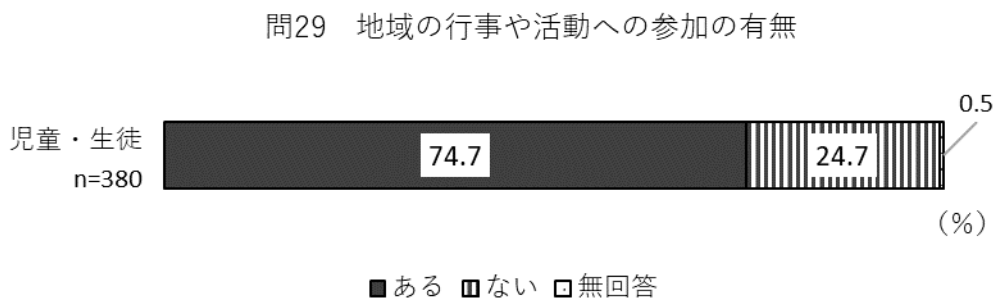


## 5 住んでいる地域について

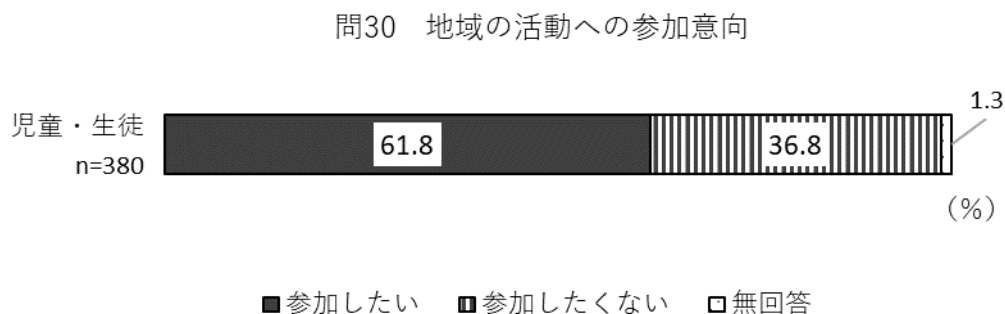
○自分が住んでいる地域のことを好きかどうかについては、「好き」が39.2%を占め、最多となっています。「まあまあ好き」(30.0%)と合わせ、全体の69.2%は好意的にとらえています。



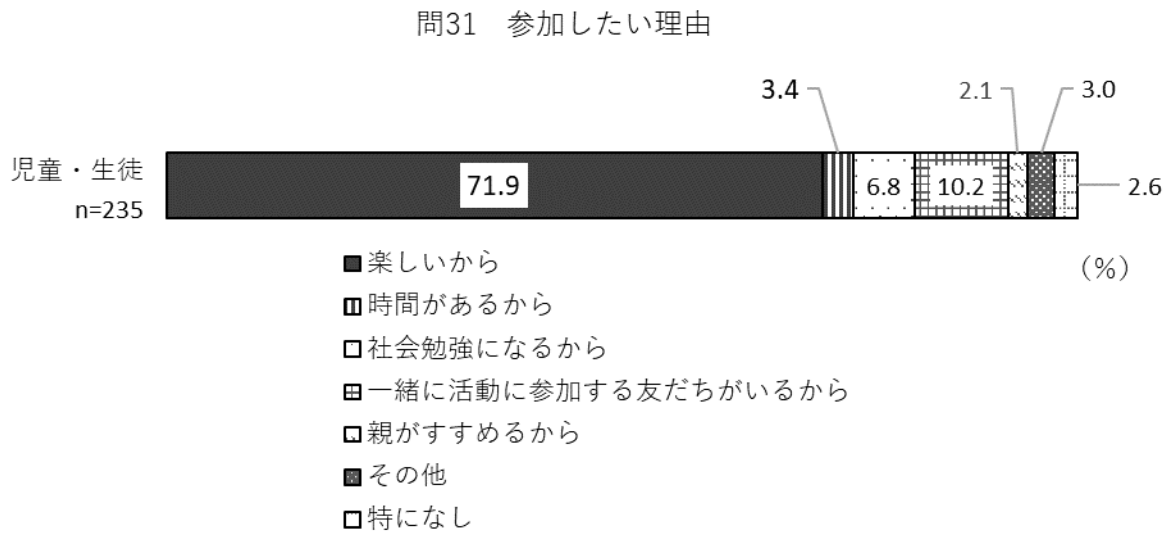
○過去1年間、住んでいる地域の行事や活動（例：お祭り、スポーツ大会、ボランティア活動、イベントなど）への参加の有無については、「ある」が74.7%、「ない」が24.7%となっています。



○今後の地域の活動への参加意向については、「参加したい」が61.8%、「参加したくない」は36.8%となっています。



○地域の活動へ参加したい理由については、「楽しいから」が71.9%で最多となっており、次いで「一緒に活動に参加する友だちがいるから」が10.2%となっています。



○地域の活動へ参加したくない理由については、「活動に興味がないから」が36.4%で最多となっており、次いで「時間がないから」が27.1%となっています。

